

草津市のスポーツの推進に関する

スポーツ関係団体等

調査結果報告書（速報）

令和2年8月

目 次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査対象.....	1
(3) 調査の方法.....	1
(3) 報告書の見方.....	1
2. 調査結果.....	2
(1) 競技団体.....	2
(2) 小学校体育連盟.....	16
(3) 中学校体育連盟.....	22
(4) 体育振興会連絡協議会.....	27
(5) スポーツ少年団.....	32
(6) 総合型地域スポーツクラブ.....	46
(7) スポーツ推進委員.....	46

1・調査概要

(1) 調査の目的

第2期草津市スポーツ振興計画の策定に向けて、市内のスポーツ関係団体等の活動状況や活動にあたっての課題、今後の活動に対する意向等を把握することを目的とする。

(2) 調査対象

市内のスポーツ関係団体等

◆体育協会等関係団体

	名称等	対象数	回答数
1	・競技団体	26 団体	20 団体
2	・小学校体育連盟、中学校体育連盟	20 団体	18 団体
3	・体育振興会連絡協議会	14 団体	10 団体
4	・スポーツ少年団	34 団体※	19 団体

※2 団体は宛先不明で返送

◆総合型地域スポーツクラブ

	名称等	対象数	回答数
5	・くさつ健・交クラブ	1 団体	1 団体

◆行政関係団体等

	名称等	対象数	回答数
6	・スポーツ推進委員	56 名	28 名

※7月31日到着分での回答数

(3) 調査の方法

- ・調査票を送付（団体属性に応じた送付方法で対応）し、郵送等により回収。
- ・調査期間：令和2年7月10日～7月27日 ※7月31日到着分まで集計

(4) 報告書の見方

- ・回答比率は、少数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問については、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- ・図表中の「N」とはNumber of caseの略であり、回答者総数を表しています。

2・調査結果

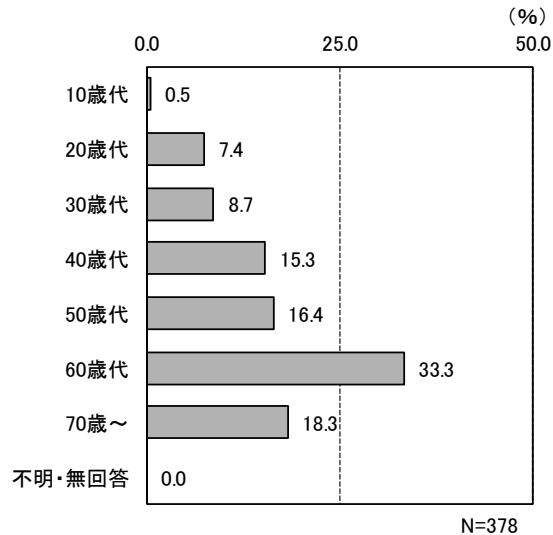
(1) 競技団体

① 団体構成について

【運営者及び指導者（登録者）の年齢構成】

問2 貴団体の運営者及び指導者（登録者）について、概ねの年代別人数をご記入ください。

◆ 「60歳代」が33.3%と最も多く、次いで「70歳～」が18.3%、「50歳代」が16.4%となっている。

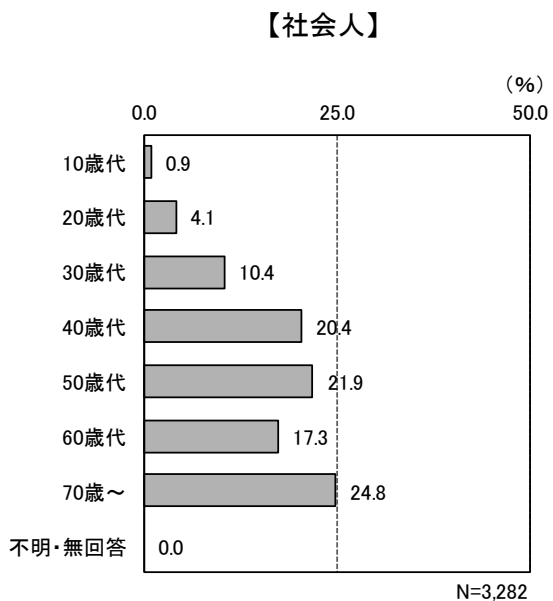
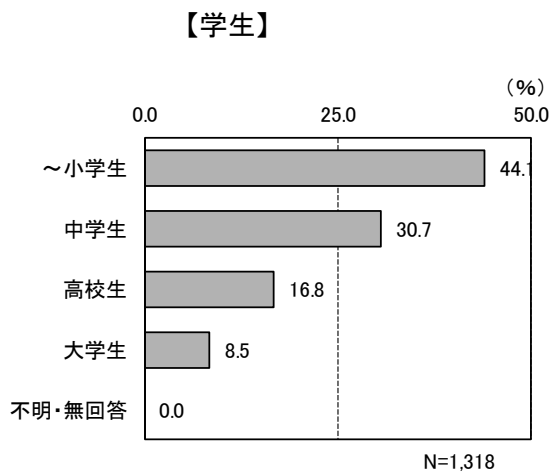


【選手（登録者）の年齢構成】

問3 貴団体の選手（登録者）について、概ねの年代別人数をご記入ください。

◆ 学生は、「小学生」が44.1%と最も多く、「中学生」が30.7%と続く。

◆ 社会人は、「70歳～」が24.8%と最も多く、「50歳代」21.9%、「40歳代」20.4%、「60歳代」17.3%の順となっている。



② 団体の運営・活動の現状について

【競技力向上や参加者を増やすための取組と成果】

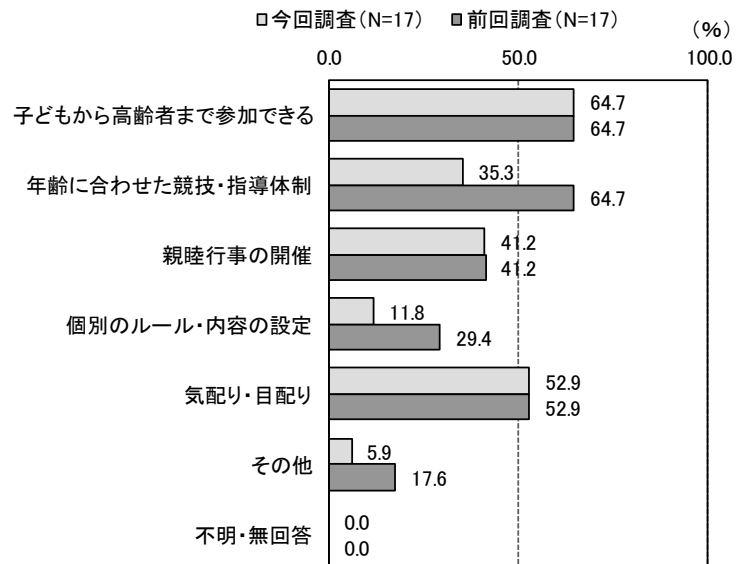
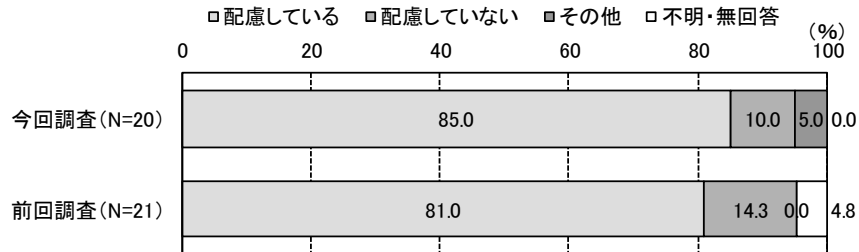
問4 貴団体の活動において、競技力の向上や参加者を増やす為に行われている取組と成果について、ご記入ください。

取 組	成 果
県体に向けた練習会実施。各種大会実施（ジュニア選手権、シングルス選手権、ダブルス選手権等）	国体選手輩出、全日本選手権大会選手輩出、プロ選手輩出
渉外部、普及推進部、広報部、財務部、令和2年度より4つの部に分けて、各自担当者を決めて運営に当たって頂く	県大会7連覇中
実技講習会の実施、ジュニアスクールの開催、4大会/年の開催	県民体育大会における上位入賞
体験会の開催、競技大会への参加、草津市での主催大会	体験会約10回、各府県大会に参加
競技力向上 当協会の大会年に5回開催（県体含まず）	県民体育大会 スキートの部優勝4回、第2位6回、個人優勝10回、受賞 トラップの部 団体3位2回、4位8回 受賞
市民ゴルフ大会（年3回実施）、選手強化練習実施	県大会4回優勝
競技力向上に向けて、県内の東レ・アローズによるバレーボール教室の開催をした	既にジュニアチームでは、全国優勝を果たし、ママさんバレーでも県大会での活躍が見られる
広報紙により案内、使用施設にイベントのチラシ配布、展示、協会主催の強化練習会及び技術講習会等	県大会で5位入賞等
市協会の中で試合を多く設定し、指導者間で切磋琢磨を続けています	ミニバスの滋賀県大会では、ここ29年間連続で男女いずれか1チーム以上がベスト4をキープ（近畿、全国大会へと駒を進めています）昨年度は男1, 2, 3位を独占しています。
会員の各種大会の成績をポイント制にして、県体選手を選考するようにした	・全国大会、茨城国体女子の部3位 ・県大会 普及指導員研修交歓大会 男子の部優勝、女子の部優勝 ※個々の競技力向上の取組
加入者増加は特に行っていない。子供達の運動能力を高めるのと、けがの少ない受け身のとり方等の練習が主	県体は年3～4回くらい、その他の大会は1度。成績はあまり良くない。個人戦ではベスト4まで行く子もいるが、今年は中学なのでやめた
中学生向け：技術指導会、市内選手権開催 小学生向け：指導会、ソフトテニス教室（春、秋）	左記取組と直接関連した戦績向上はない
暴言、悪口雑言、いじめ等の行為の禁止。（年々会員の減少が深刻化している）	県大会6回、近畿大会2回
	県体（平成30年度）滋賀県2位
市民体育大会、チャレンジスポーツ	関西ブロック大会、全日本インディアカトーナメント（10年ほぼ毎年）
日本トップレベルの選手（チーム）を招いて大会を継続的に実施	県民体育大会にて総合優勝（2年連続）、男子優勝（3年連続）
小学生、中学生等ジュニア年代の選手に対する実技講習会の実施、チャレンジスポーツデー、少年少女卓球教室他の講習会の開催。 講習会への参加兼指導者（トレーナー）として、協会役員・係員以外に高校生や大学生に協力依頼し実施することで交流が図れる。	・小学校、中学校卒業後も継続して学校の部活動への参加や、協会加盟クラブチームへ参加する選手の増加につながる。 ・県大会上位入賞、近畿選手権出場、大阪オープン選手権出場（ホープスベスト16）
①級位審査会、②合同稽古会、③錬成大会の開催、 ④剣道教室	①県道場連盟大会：小学生団体3位、個人戦3位 ②びわこ少年大会：個人戦3位 ③県スポーツ少年団大会：個人（3, 4年生の部）優勝

【高齢者や障害者への配慮】

問5 高齢者や障害者の活動に配慮していますか？（○1つ）
 どのような点に配慮されていますか？（○いくつでも）

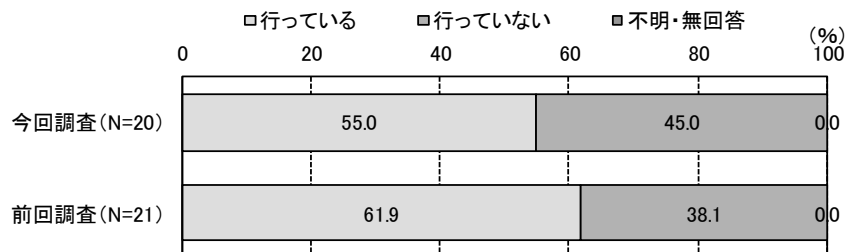
◆「配慮している」が85.0%と大多数を占め。配慮している点としては「子どもから高齢者まで参加できる」が64.7%、「気配り・目配り」が52.9%と続く。



【他団体との交流・連携】

問6 他団体との自主的な交流事業やイベント、大会等を行っていますか？（○1つ）

◆「行っている」が55.0%で半数を超えるが、前回調査と比較すると6.9ポイント減少している。



＜具体の取組＞

- レディス連盟主催の大会への参加等。各チームごとに他府県大会への選手参加がある。
- 他市のチームとの交流会や韓国との親善大会などバレーボールやソフトバレーを通じての交流を図っています。
- 小学校（スクール）他府県及び県内スクールと交流大会。高校、社会人に対しては、各団体におまかせしています。
- レイクスターズのミニバス事業に協力。市内全ミニバスチーム協力のもと、招待大会を企画運営。ホームステイ交流を続けています。
- 定期的な大会
- ①年1回、草津宿場杯を開催（県内、各市から参加約500人）、②香川県観音寺市と交流（年1回1泊2日）
- 剣道、柔道、少林寺、空手と共に毎年武道祭を実施
- 県大会、他府県との交流大会
- 近隣市町村と交流大会実施（湖南4市ソフトボール大会）
- 市剣道連盟主催錬成大会開催（県内から参加）、合同稽古会

③ 団体の練習について

【団体の練習場所】

問7 貴団体が普段の練習時に使用している主な施設や場所についてご記入ください。（複数でも可）

練習場所
草津総合体育館、ふれあい体育館
市総合体育館、YMITが中心です
各小学校の学校開放を利用、または草津総合体育館やYMITを利用させて頂いています。
・草津市総合体育館、YMITアリーナ、ふれあい体育館など
・市内小学校、中学校、高校の体育施設
矢倉小学校体育館、志津小学校体育館
三ツ池公園テニスコート、弾正公園テニスコート
弾正公園テニスコート
地域まちづくりセンター（5ヶ所）、市立まちづくりセンター
草津川河川敷、青池町のグラウンド他
市立武道館、総合体育館格技場、市立小学校体育館
草津警察署、草津武道館
草津市武道館相撲場
草津イトマンフィットネスクラブ、グンゼスポーツ、ビバスポーツ
京都国際笠取射場（京都府）、伊賀上野射撃場（三重県）、県内施設はありません
パナソニックエコひろば、環境衛生センター（サブグラウンド）、三ツ池運動公園
アクトエースレーン草津
練習では使用していない
個人練習なので指定なし
なし

【強化合宿や他チームとの合同練習等】

問8 強化合宿や他チームとの合同練習等【普段の練習よりも大がかりなもの】で主に使用している施設や場所（市外含む）、年間の回数、平均参加人数、宿泊の有無（該当箇所には○印）、平均宿泊者数について、ご記入ください。＜練習会場と宿泊場所が異なる場合は、「使用会場」の欄にどちらも記入願います。＞

集計中

④ 参加・開催する大会等について

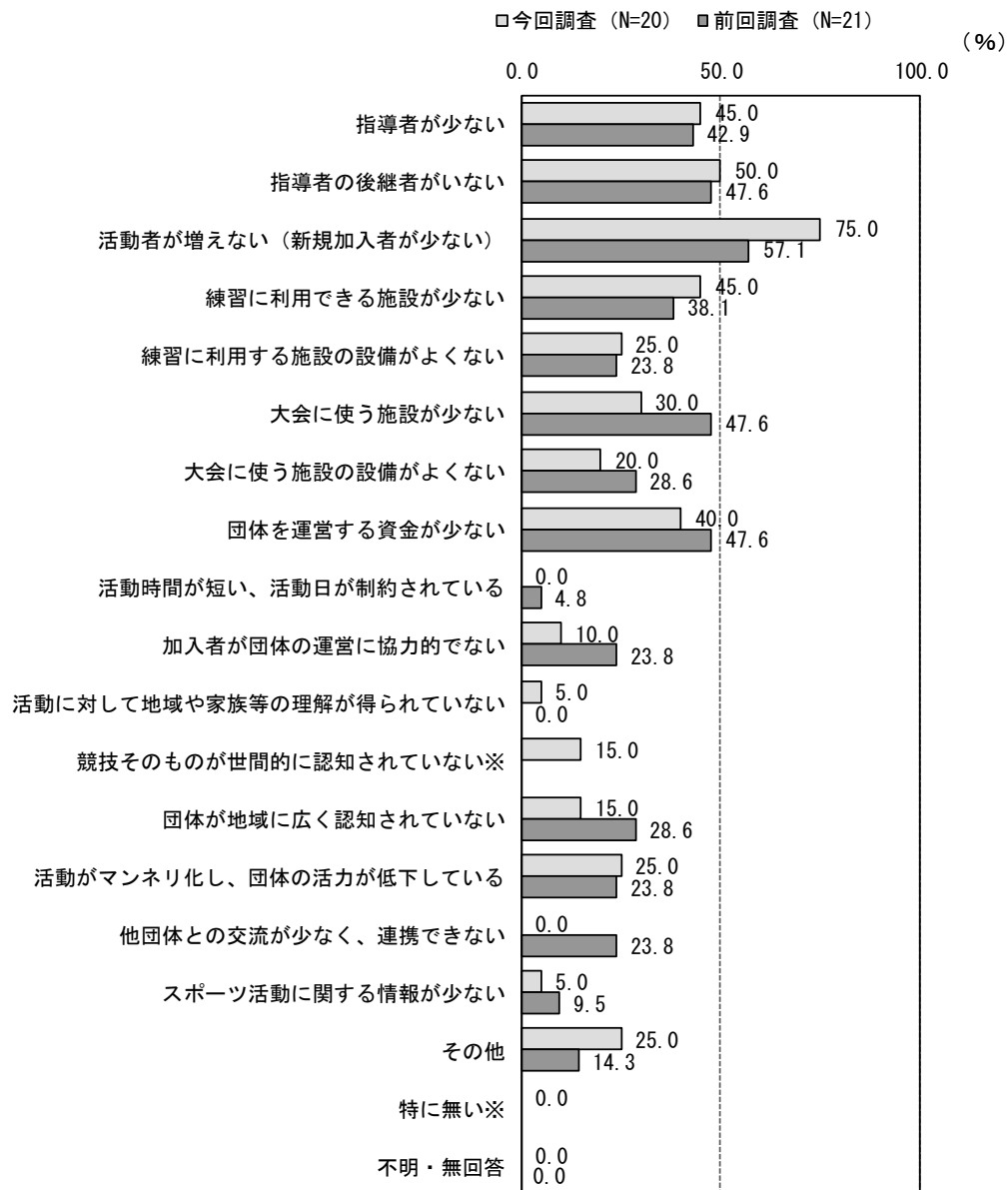
問9 貴団体が参加・開催している定期的な大会等の名称、開催レベル（該当箇所には○印）、主に使用している施設や場所、年間の開催回数、平均参加人数、平均観客数、宿泊の有無（該当箇所には○印）、平均宿泊者数についてご記入ください。

集計中

⑤ 団体における問題点、課題について

問 10 貴団体の運営・活動について、現在、問題となっていることは何ですか？（〇いくつでも）

- ◆ 「活動者が増えない」が 75.0%と最も多く、次いで、「指導者の後継者がいない」が 50.0%、「指導者が少ない」（45.0%）「練習に利用できる施設が少ない」（45.0%）が同率で続く。
- ◆ 前回調査と比較すると、「活動者が増えない」が 17.9 ポイントと大きく増加しており、逆に「大会に使う施設が少ない」は 17.6 ポイント、「他団体との交流が少なく、連携できない」は 23.8 ポイント減少している。

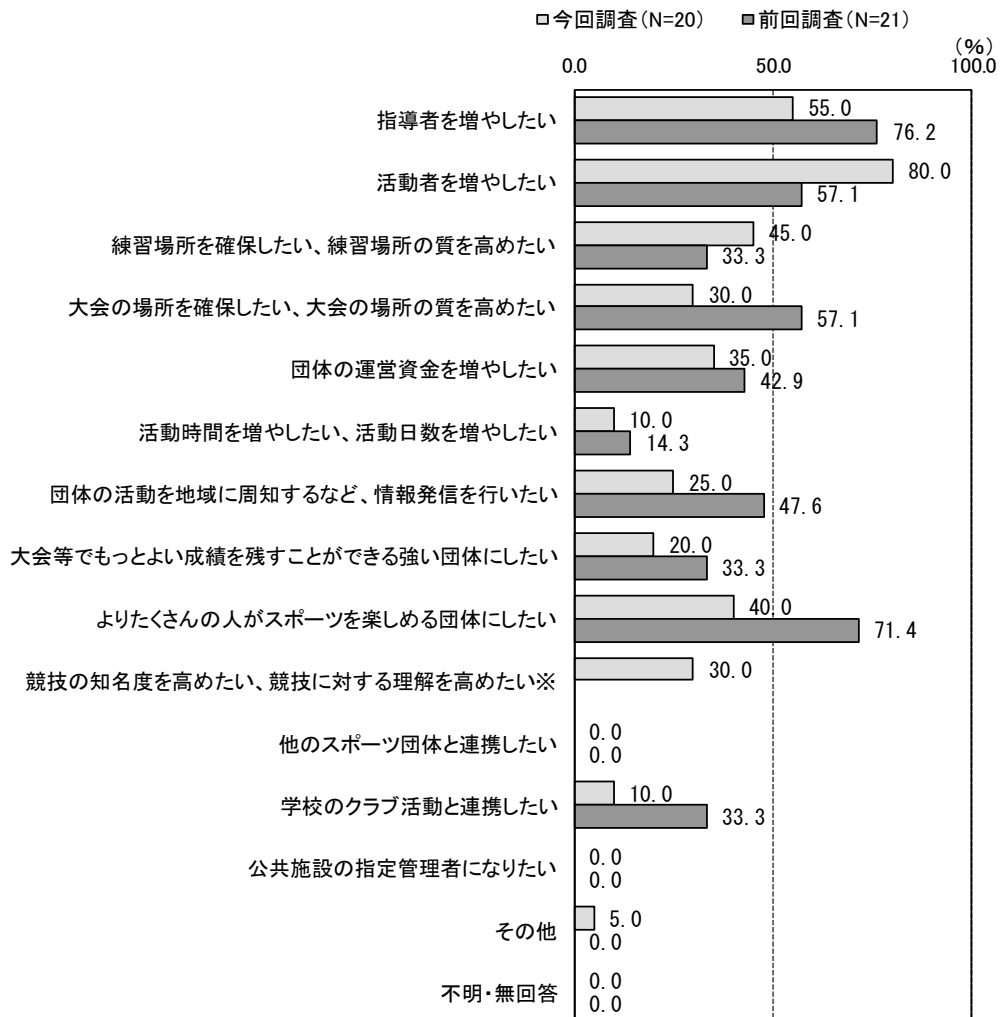


※は今回調査のみの設問

⑥ 今後の活動について

問 11 貴団体の運営・活動について、今後どのようにしていきたいですか？（〇いくつでも）

- ◆ 「活動者を増やしたい」が 80.0%と大多数を占め、次いで「指導者を増やしたい」（55.0%）、「練習場所を確保したい、練習場所の質を高めたい」（45.0%）と続く。
- ◆ 前回調査と比較すると、「活動者を増やしたい」が 22.9 ポイントと大きく増加している。



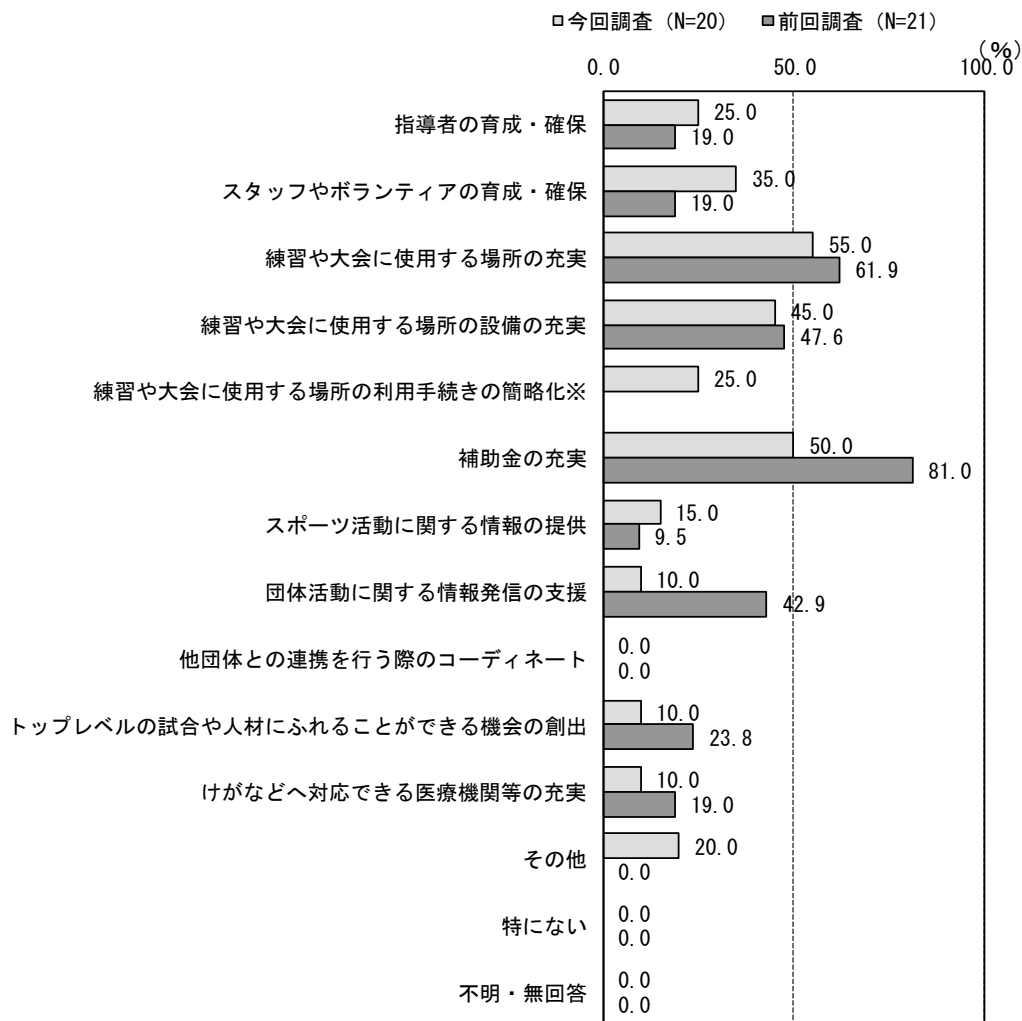
※は今回調査のみの設問

⑦ 行政に期待している点

【行政に望む支援】

問 12 貴団体の今後の活動のため、特に行政への支援を望まれる点がありますか？（〇いくつでも）

◆ 「練習や大会に使用する場所の充実」が 55.0%で最も多く、「補助金の充実」（50.0%）、「練習や大会に使用する場所の設備の充実」（45.0%）と続く。前回調査と比較すると、「スタッフやボランティアの育成・確保」が 16.0 ポイント増加しており、「団体活動に関する情報発信の支援」は 32.9 ポイント、「補助金の充実」は 31.0%といずれも大きく減少している。

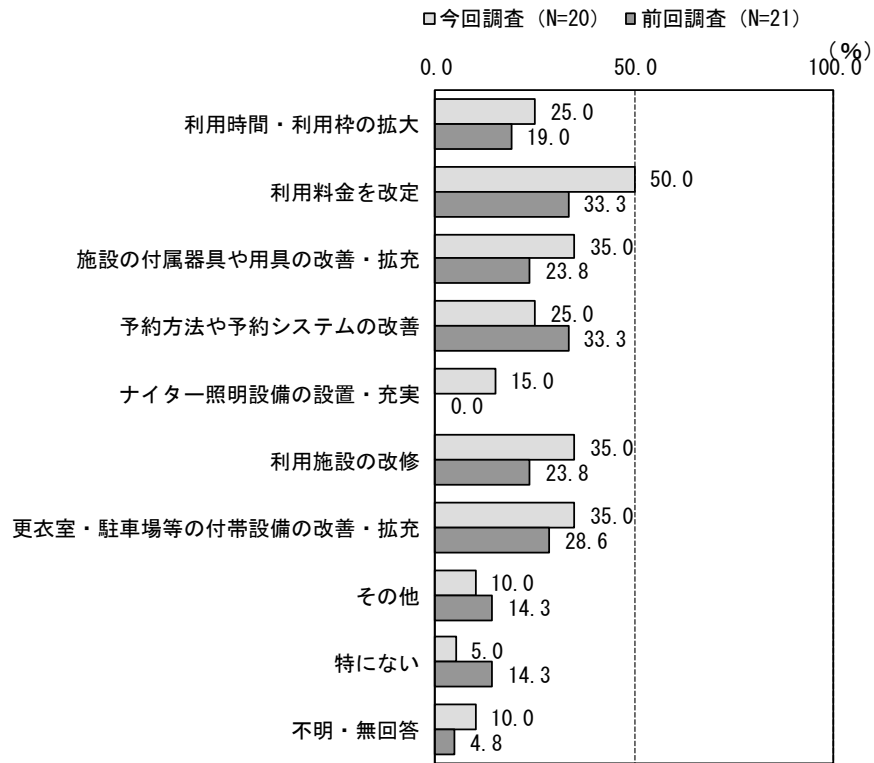


※は今回調査のみの設問

【活動施設に関する要望点】

問 13 貴団体が活動されている施設について、どのような点の充実を望まれますか？（〇いくつでも）

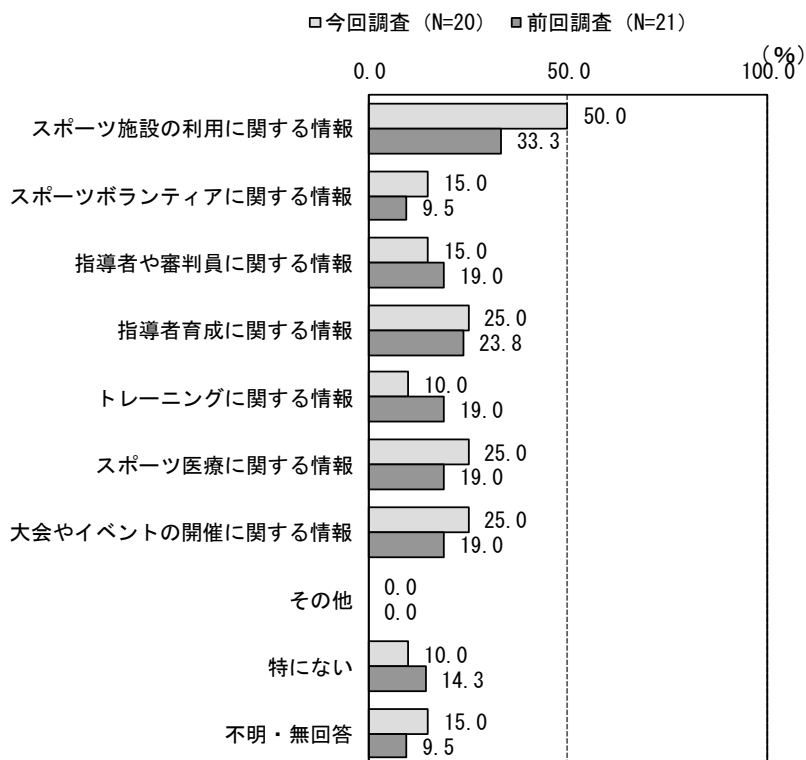
◆ 「利用料金を改定」が 50.0%と最も多く、「施設の付属器具や用具の改善・拡充」「利用施設の改修」「更衣室・駐車場等の付帯設備の改善・拡充」が同率で続く。前回調査と比較すると、「利用料金を改定」が 16.7 ポイント、「ナイター照明設備の設置・充実」が 15.0 ポイント増加している。



【行政に望む情報】

問 14 スポーツに関する情報について、行政からどのような情報を望まれますか？（〇いくつでも）

◆「スポーツ施設の利用に関する情報」が 50.0%と最も多く、前回調査に比べて 16.7 ポイント増加している。

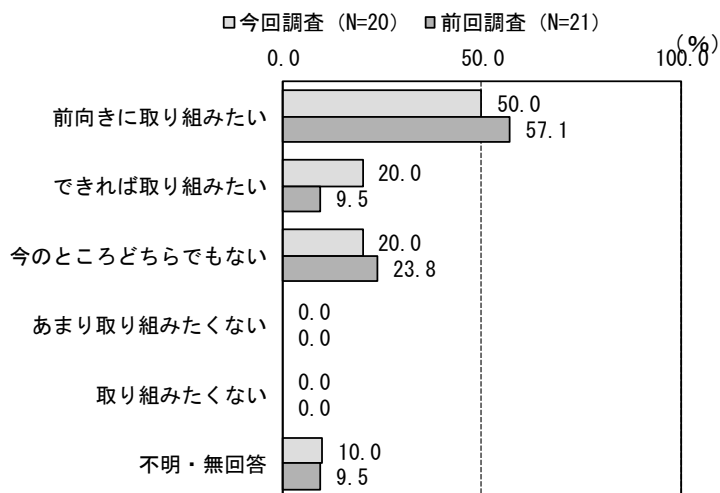


⑧ 国民スポーツ大会について

【国スポへの参加意向】

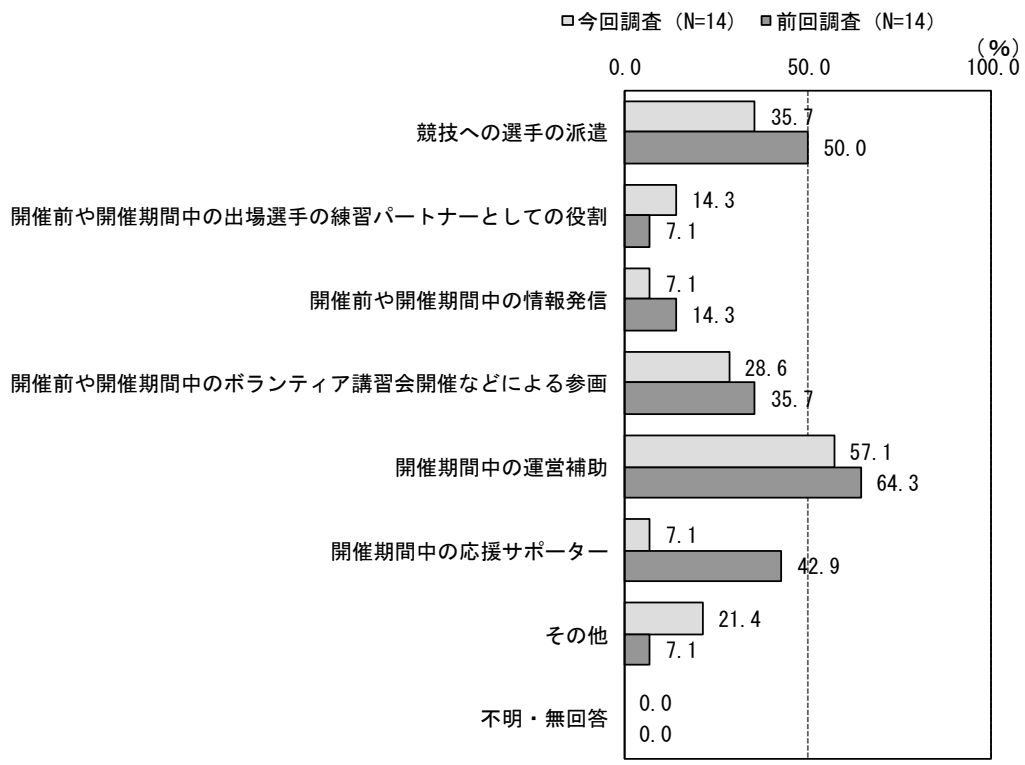
問 15 令和6年（2024年）に国スポが滋賀県で開催される見通しですが、貴団体は、国スポ開催についてどのような考えをおもちですか？（〇1つ）

◆「前向きに取り組みたい」が 50.0%と半数を占め、「できれば取り組みたい」の 20.0%をあわせると、7割が取組意向を示している。



問 16 問 15 で「1 前向きに取り組みたい」、「2 できれば取り組みたい」と回答された団体におたずねします。具体的に、どのような形での国スポへの参画が考えられますか？（〇いくつでも）

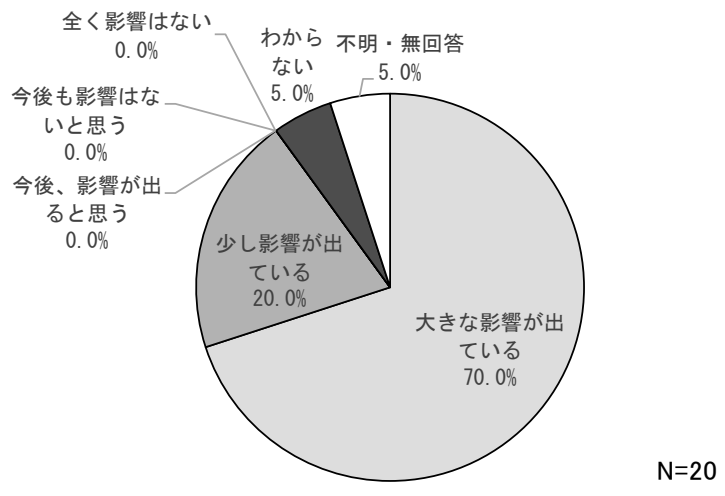
◆「開催期間中の運営補助」が 57.1%と最も多く、次いで「競技への選手の派遣」（35.7%）、「開催前や開催期間中のボランティア講習会開催などによる参画」（28.6%）と続く。



⑨ 新型コロナウイルス感染症の影響

問 17 新型コロナウイルス感染症の流行は、貴団体の活動に影響を及ぼしていますか。（〇1つ）

◆「大きな影響が出ている」が 70.0%、「少し影響が出ている」が 20.0%で、9割が影響が出ていると回答。
◆具体的には、大会や練習の中止といった内容が多い。



<具体の影響>

- 大会の中止（シングルス選手権中止、シニア大会中止、県体中止等）
- 大会中止
- 大会の中止、練習の自粛
- 選手権・大会開催中止
- 第2波が来るとイベントが出来なくなると思える。
- 大会の中止、会議の中止、練習の中止。
- 3月以降すべてのイベント（総会、理事会、学習大会、月例会）を中止しています。
- 大会が実施できない。8月以降開催予定の大会の突然の中止、熱中症の発生。
- 市レベルを超える大会の開催ができていない。
- 学校休校に伴う部活動の休止や大会の中止。
- 大会開催日が、学校の試験時期と重なり、本来参加できたはずの大会に参加できなかった。接触接近等を防止するため、試合・練習ともダブルスが不可となった。
- 各自、民間の運営によるプールの利用を行っているが、民間企業が一定期間プールを閉鎖して、休館になって泳げない時期があった事。
- 練習への参加者が1/3～1/4に減少。新人の方がスポーツ吹矢をやめるかもしれない。
- 三密 練習場が限られ、他府県の人との接触。
- 今年度の事業が開催できない状態が続いている。
- 体力、技能が少し低下している。
- 利用している施設が一時的に使用できなかった。
- 小学校体育館の使用中止。
- 体育施設の利用制限があり、各チームの活動ができなくなった。
- まったく練習ができていない。先週の土曜日から基礎運動のみ始めました。今までの様な練習が出来ようになるのか不安。
- 選手の練習中断。
- 競技が出来ない。ゲートボールは高齢者が多いため、会員とその家族等の命と健康を守るため。
- 感染防止対策での接触体勢に制限があり、本来の技を出すにも制限される。十分な稽古ができない。
- 技術講習会の中止。
- 学校再開後の部活動時間の制約、学校スケジュールによる大会種目の限定。
- 中学生の部活動時間が限られ、団体戦のみしかできない。（午前・午後的一方しか活動できず、従来のように個人戦と団体戦の開催が時間的に困難。）
- 大会等開催時の感染予防対策への対応。
- 大会開催自粛（中止）や規模縮小に伴う大会参加者数の減少により、参加料収入が減少し協会収益が悪化する。今後、協会運営が困難になる恐れがある。
- 感染者の増加にともなう活動制限が続くことが不安となる。3密を避けることを徹底できるかも不安材料となる。

⑩ 自由記述

問 18 スポーツを通じたまちづくりを進めていくにあたって、市民スポーツのあり方、スポーツ団体の活動のあり方等に関してご意見等がございましたら、ご自由に記入ください。

- スポーツ保健課とももっと連携したい。そして要望を伝え、良い方向にもっていきたい。
- バスケ協会をきちんと組織だてるには、中・高の協力なくしては成り立ちません。先生方へ協力していただけるよう声かけをしていただきたいと思います。国スポは少年女子バスケ会場ですから。
- 社会人が活動できる時間帯は、平日の定時後および土・日曜日であるが、それらの時間帯のいくつかを選択肢として準備し、活動を取りまとめる機能が必要。ジュニアから社会人までの活動の連続性を保つためには、学校の部活動を充実させることが必要。
- スポーツ団体の活動を行うに当たり、いろいろな普及を行う上で、助成金等を増やして頂かないと、普及活動に支障が出ます。どこかのプールを借りて指導を行うにも運営費が必要です。
- 他府県と交流、技術の向上、若人の夢（世界）をまずはこの草津から発信したいのですが、まずは銃・許可の取得が必要。設備等の必要、難問だらけですが、施設があれば県内は一円、他府県からの誘致、地域の活性、県内に射撃場の夢をお願いします。
- 私たちはボランティアでやっているのですが、各指導者のガソリン代にも事欠く次第です。今使用させてもらっている警察署の道場がなくなるとたちまち練習場所がなくなり、練習費用のかかる場所ではやっていけなくなる。夏と冬の練習がかなり過酷です。（温度差がヒドイので、夏は45度まで上がり、冬は6度まで下がります）今年はずっと6年生だった子が5人ほど退会するので、道場の維持費が今年は難しい。今現在草津市立武道館を使用しています。
- 野村運動公園以外の増設をお願いします（グラウンドが少ない）
- 1. 国スポ（2024）に向けての競技施設の早急な改善（グラウンドの土が体育館工事の資材置き場になっていたが、未だに改修してもらえない。借用したものは元通りに戻して返還ください）
2. 駐車場が全く足りていない
3. アンケートの結果、何がどう変わったのか、フィードバックして下さい（アンケートを実施したという実績だけに使用しないで下さい）
- 2024年国民スポーツ滋賀大会後、市内施設を活用し、人々を集めるスポーツイベント（収益事業だけでなく）の開催を、各競技団体とともに、計画的に実施できるようにしてほしい。特にYMITアリーナを中心とした大型イベントの開催計画を可視化してもらえたらありがたいです。
- 新型コロナウイルス感染症が発生拡大し、その感染拡大防止措置として、しばらく大きなスポーツ活動の規模縮小や開催自粛がやむを得ない状況の中で、今後感染状況を見ながら活動をしていくうえで、感染防止策も含めてのスポーツ活動について、スポーツをする人、応援や感染をする人、施設管理者、主催者など、皆がルールやマナーを意識しながら活動する必要があると感じます。”
- スポーツ団体活動にますます市民へのPRや情報（活動）等を提供する事にもっと力を入れてほしいと思います。
- 草津市では誰もが生涯にわたって心も体も健やかで幸せに過ごせることを願って「健康都市宣言」や「健康都市基本計画」を策定され、実現に向けて各種施策が推進されています。つきましては、我々スポーツ競技団体におきましても参画させていただけるようなさらなる充実をお願いします。
- スポーツは『いつでも どこでも だれとでも』といった気軽に楽しむことが出来るものとして、多くの市民の皆さんに親しんでいただきたいと思います。私たちも、こうした取組を拡大していけるように努めたいと考えています。
- スポーツ愛好者、競技者の裾野を広げる、小学校低学年からのスポーツへ参加する、環境づくりをお願いしたい。また、その状況を維持するため、指導者の育成、増員にも力を入れていた

だきたいと考えます。

- 当協会のような超高齢者団体は新型コロナウイルス感染症の終息が見えないので、各種大会の開催に腰が引けています。アドバイスをいただければ幸いです。

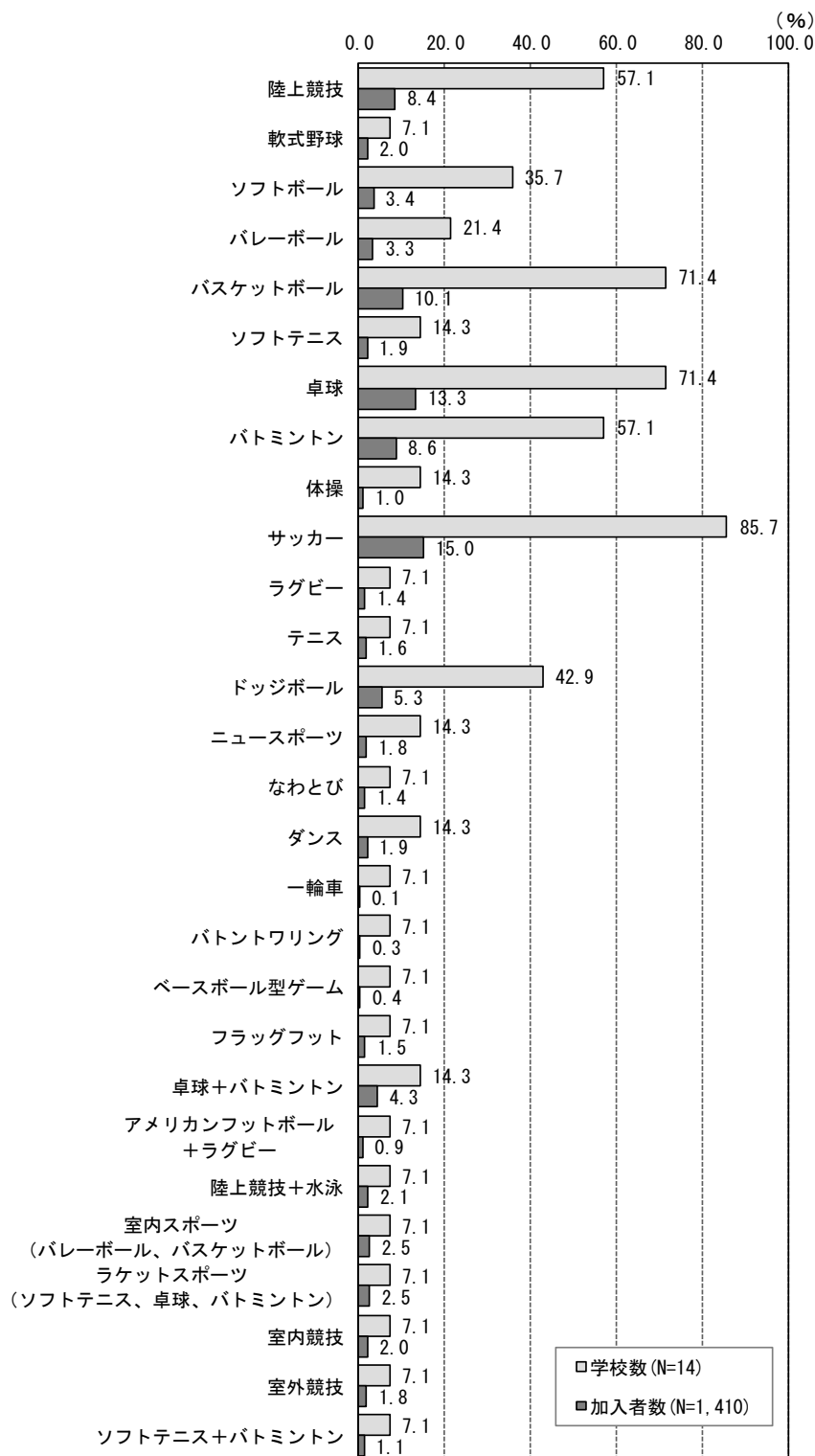
(2) 小学校体育連盟

① クラブ活動について

【クラブ活動の種目と加入数】

問2 授業の一環としてクラブ活動を行っているスポーツはどれですか。(あてはまるものすべてに○)
また、加入者の概ねの人数をご記入ください。

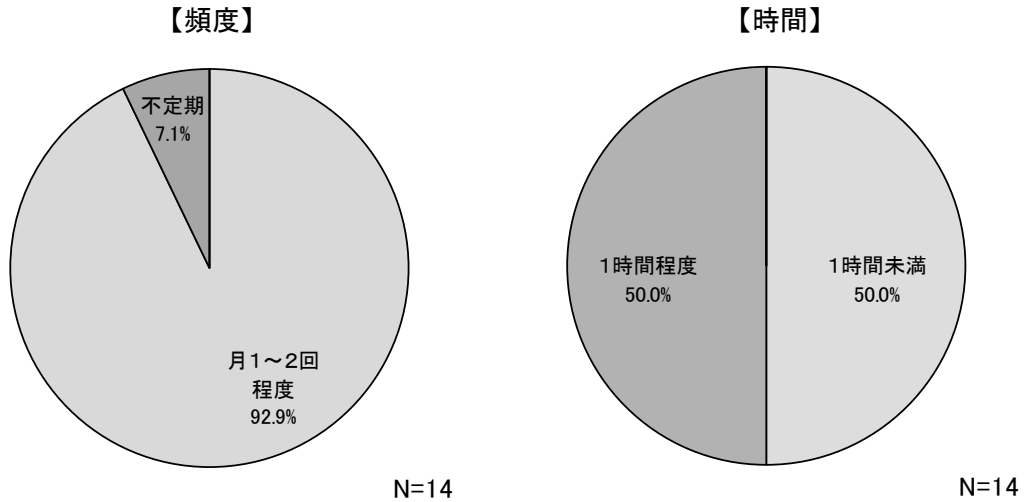
◆加入者数・実施校数とも「サッカー」が最も多く、加入者数では次いで「卓球」(13.3%)、「バスケットボール」(10.1%)が多くなっている。



【クラブ活動の頻度】

問3 授業の一環としてのクラブ活動の概ねの頻度・時間を下記よりお選びください。

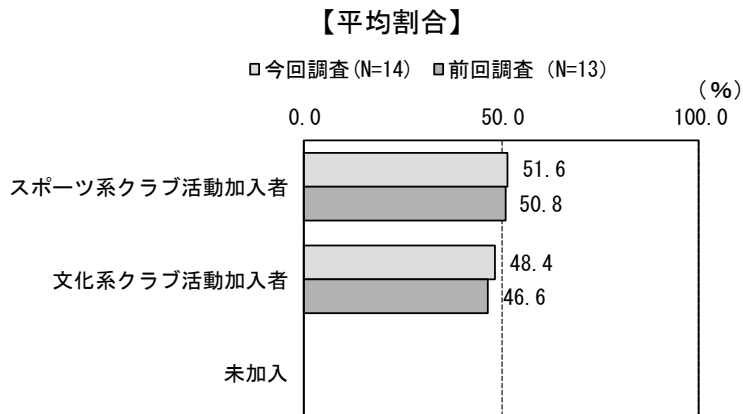
◆頻度は「月1～2回」が92.9%と大多数を占め、時間は「1時間未満」と「1時間程度」が同数となっている。



【スポーツ系クラブの加入割合】

問4 クラブ活動に参加している児童について、概ねの割合について、下記の要領でご記入ください。

◆加入割合を平均すると、「スポーツ系クラブ活動加入者」が51.6%で、「文科系クラブ活動加入者」(48.4%)を3.2ポイント上回っている。

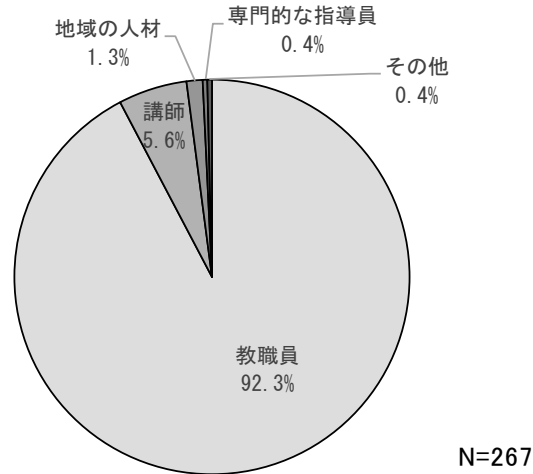


※前回調査結果は「文科系クラブ活動加入者」の割合が不明なものが含まれるため、合計数が100%とならない

【クラブ活動の顧問・指導者数】

問5 クラブ活動の顧問・指導者について、下記の要領でご記入ください。

◆「教職員」が92.3%と大多数を占める。



【クラブ活動運営上の問題・課題】

問6 クラブ活動の顧問・指導者について、クラブ活動を運営する上で問題・課題となっていることがあれば、具体的にご記入ください。

- 専門性の高い指導をだれもができない（技術的にも、安全的にも）。
- 不慣れなクラブであろうと、担当しなければならない。
- クラブの人数が少ないため、内容の違うクラブが合体したので担当教諭だけでは指導しきれない内容もあるので、外部講師をお願いしないといけない。
- 外部講師の活用。
- 運動場が混み合っていて、1つ1つのクラブのスペースが少しせまい。
- 活動場所が充分にとれない。
- 運動場の水はけが悪く活動できないことが多い。

【競技力向上に向けた取組】

問7 クラブ活動について、日常の練習以外で、競技力向上のため、特別に取り組んだ活動があれば、具体的にご記入ください。

- 体育学習の充実。
- 体育の活動でふれる。

【学校間での交流・連携】

問8 クラブ活動について、他の学校（市内・市外含む）と交流・連携している取組があれば、具体的にご記入ください。

回答なし

【他団体との交流・連携】

問9 クラブ活動について、地域の人材や団体（児童の保護者、PTA 等）や他団体（中学校、高校、大学、他スポーツ団体等）などと交流・連携している取組があれば、具体的にご記入ください。

- ニュースポーツは地域の人に来ていただき、取り組みをしている。
- 専門性の高い技術をもった方に来ていただいでご指導いただいている（バトミントン）。
- ダンスクラブの講師としてPTA 役員（児童の保護者）に来てもらっている。
- 今年はコロナウイルスの影響もあり、学校には来てもらっていないが、ニュースポーツ・ベースボール型ゲーム等のクラブでは、保護者のボランティアや地域の人材が来てくれている。
- 市三ツ池運動公園の方（地域の方でもある）に、ニュースポーツの指導を年 4～5 回していただいている。

② 学校でのスポーツ活動の問題点・課題について

問10 学校でのスポーツ活動について、問題点・課題などがあれば、具体的にご記入ください。

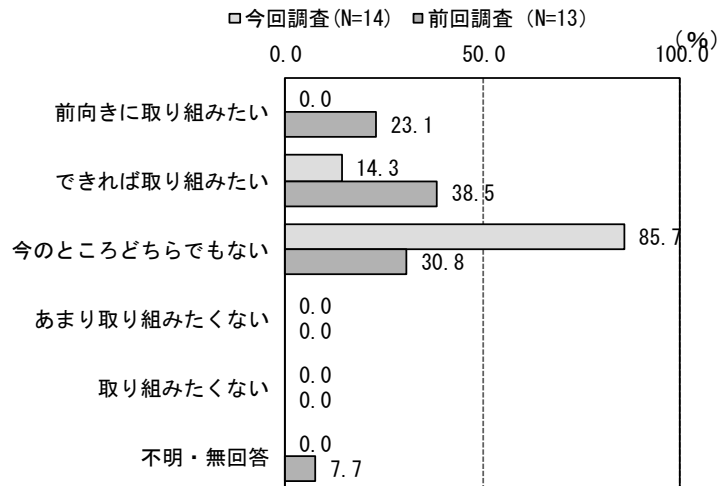
- 他学年と内容が重なってしまうこと。（鉄棒やボール運動の時期が重なってゆずりあわないといけなくなるときがある）
- 運動場や体育館などの設備が整っているか、道具などが不足したり、なかったりしている。
- スポーツする場所の確保。道具をそろえること。専門的指導。
- 小学校でどこまで技術的なことを身につけるのか。（しすぎて、やらなさすぎてもいけない）
- プール設備の老朽化。児童の人数に対して運動場が狭い。
- グラウンドにトラックのひもや体育授業に必要な目印となるポイントを打ち込みたいが、地域のスポ少や老人クラブとの兼ね合いもあり打てない（打っても引き抜かれる）。
- 運動場が遠く、外に出るための時間がかかる。そのため体力の低下が全校的に見られる。
- 感染症拡大防止対策をした上での活動に制限がかかる。
- その種目の魅力や特性にどっぷりつかれるくらいの時間の確保。安全面を中心としてどの子ども一定の活動ができる場や器具などの設備面。

③ 国民スポーツ大会について

【国スポへの参加意向】

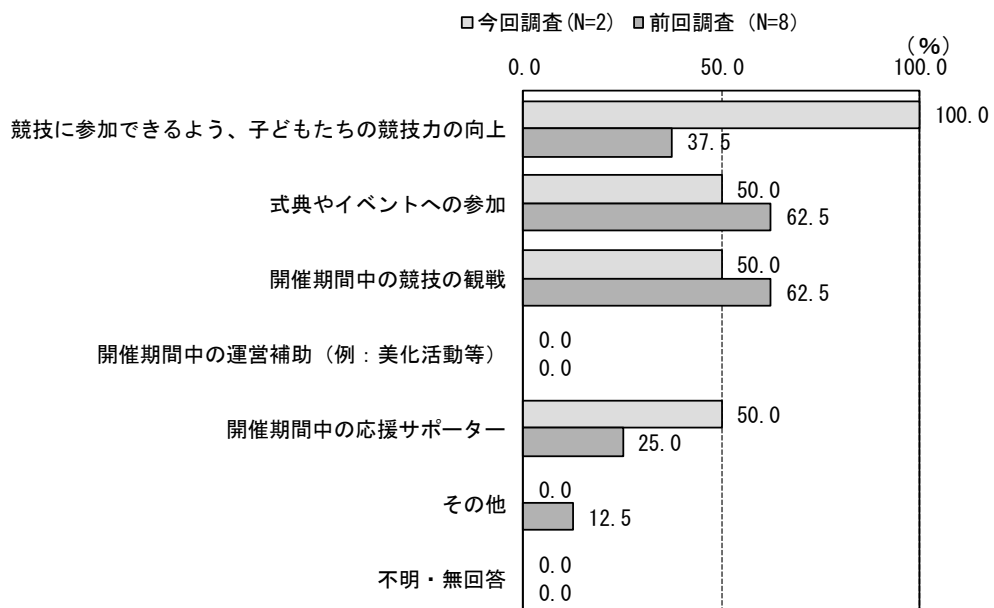
問 11 令和6年（2024年）に国スポが滋賀県で開催される見通しですが、貴団体は、国スポ開催についてどのような考えをおもちですか？（○1つ）

◆ 「今のところどちらでもない」が85.7%と大多数を占め、「できれば取り組みたい」は14.3%となっている。



問 12 問 11 で「1 前向きに取り組みたい」、「2 できれば取り組みたい」と回答された団体におたずねします。具体的に、どのような形での国スポへの参画が考えられますか？（○いくつでも）

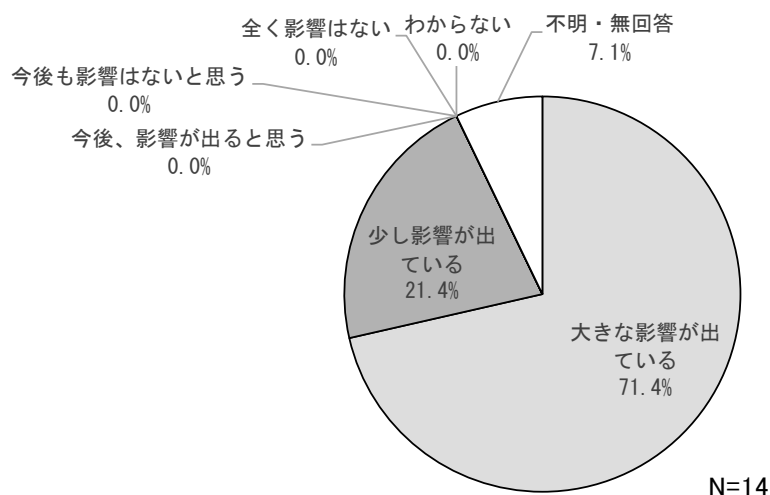
◆ 「競技に参加できるよう、子どもたちの競技力の向上」と2校ともが回答しており、「式典やイベントへの参加」「開催期間中の競技の観戦」「開催期間中の応援サポーター」がそれぞれ1件となっている。



④ 新型コロナウイルス感染症の影響

問 13 新型コロナウイルス感染症の流行は、小学生のスポーツ活動に影響を及ぼしていますか。(○1つ)

- ◆ 「大きな影響が出ている」が71.4%、「少し影響が出ている」が21.4%で、9割が影響が出ていると回答。
- ◆ 具体的には、「体育のできる活動の制限」「体力の低下」といった回答がみられる。



<具体の影響>

- 活動の制限、具体的な線引があいまい（どの活動ができてどの活動がダメかがはっきりしていない）仮に活動して感染した場合の責任はどこになるのか。
- 活動時間の減少、活動量の減少。
- 運動会の時期の変更、体育の学習内容の変更。
- 体育、休み時間にできることが制限されてしまう。
- 活動の場所や時間などが制限されてしまっている。活動ができないことで体力的、精神的に影響が出ている。
- 体育の学習での制限があること。
- 授業で取り組む活動が制限される。
- 体育の授業では、できる内容が限られている。体育的行事が中止になっている。
- 活動ができる競技に制限がある。
- できない競技・スポーツがある。
- のびのび活動できない。制限がある。
- 体力の低下、運動不足。
- 練習量の低下→体力の低下。
- 体力面の低下、運動機会の確保、全面に配慮。

⑤ 自由記述

問 14 学校でのスポーツ活動について、ご意見・ご要望などがあれば、ご自由にご記入ください。

- どの子どもがいろんなスポーツに触れたり、体験したりできる時間や機会がほしい。また、器具などの設備、環境をできるだけ整えてあげたい。
- 学校に限らず、地域、社会、スポーツとしていかに広げていくか。

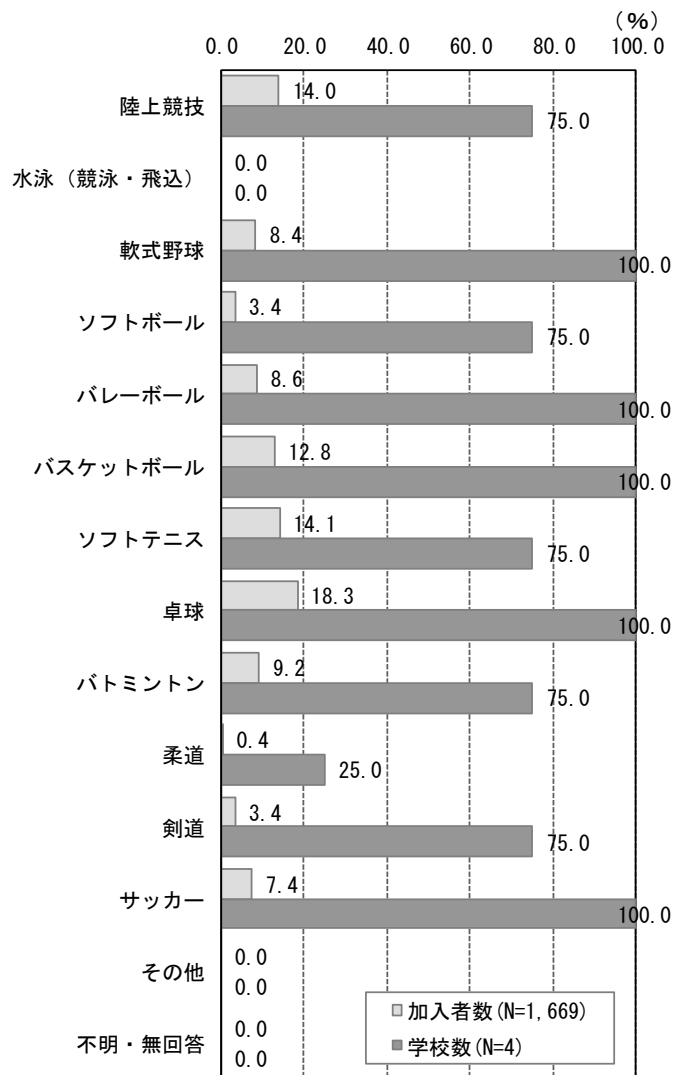
(3) 中学校体育連盟

① クラブ活動について

【クラブ活動の種目と加入数】

問2 授業の一環としてクラブ活動を行っているスポーツはどれですか。(あてはまるものすべてに○)
また、加入者の概ねの人数をご記入ください。

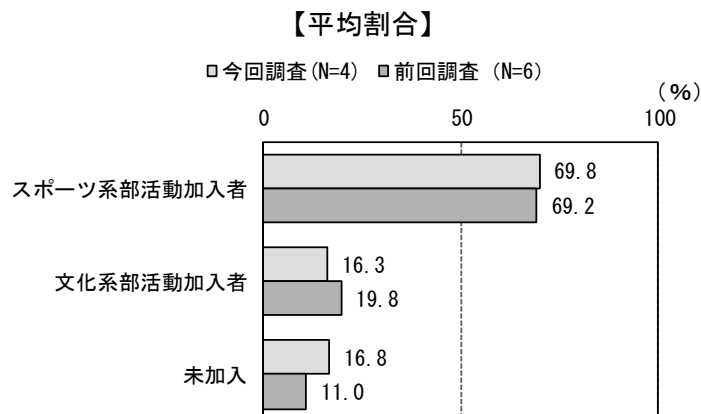
- ◆加入者数は、「卓球」が18.3%と最も多く、次いで「ソフトテニス」(14.1%)、「陸上競技」(14.0%)
「バスケットボール」(14.8%)と続く
- ◆学校数では、「軟式野球」「バレーボール」「バスケットボール」「卓球」「サッカー」は全ての学校で
クラブ活動を行っている。



【スポーツ系クラブの加入割合】

問3 クラブ活動に参加している児童について、概ねの割合について、下記の要領でご記入ください。

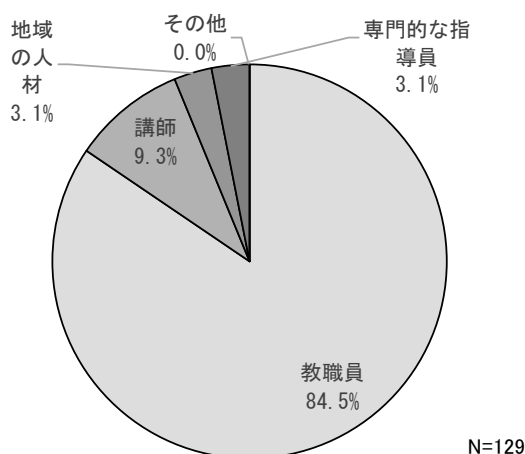
◆加入割合を平均すると、「スポーツ系クラブ活動加入者」が69.8%で、「文科系クラブ活動加入者」(16.3%)を大きく上回っている。



【クラブ活動の顧問・指導者数】

問4 クラブ活動の顧問・指導者について、下記の要領でご記入ください。

◆「教職員」が84.5%と大多数を占め、「講師」が9.3%、「地域の人材」と「専門的な指導員」がそれぞれ3.1%。



【クラブ活動運営上の問題・課題】

問5 クラブ活動の顧問・指導者について、クラブ活動を運営する上で問題・課題となっていることがあれば、具体的にご記入ください。

- 部活動の時間が短く、活動場所もないため、専門的な活動ができない部活動がある。
- 専門ではない顧問の部活があり、指導に困ることがある。外部コーチに来てもらうなどの工夫を行っている。
- 専門外の部活動の顧問になった時の指導の難しさ、練習試合等の審判。
- 教師の負担しているバランスが悪い。
- 専門の指導員がいないところがある。

【競技力向上に向けた取組】

問6 クラブ活動について、日常の練習以外で、競技力向上のため、特別に取り組んだ活動があれば、具体的にご記入ください。

- 社会体育でのクラブ活動。
- 土日などで他のチームとの練習試合で力をつけさせる。

【協議会の成績・成果】

問7 部活動について、県レベル・全国レベルでの競技会の成績、特筆すべき成果があれば、具体的にご記入ください。

- 昨年度、陸上部 4×100 リレー全国大会出場
- 野球部：県大会 2 位、近畿大会 3 位

【学校間での交流・連携】

問8 クラブ活動について、他の学校（市内・市外含む）と交流・連携している取組があれば、具体的にご記入ください。

- サッカー部、女子バレーボール部が部員数が少なく市内の中学校と合同チームで活動している。

【他団体との交流・連携】

問9 クラブ活動について、地域の人材や団体（児童の保護者、PTA 等）や他団体（中学校、高校、大学、他スポーツ団体等）などと交流・連携している取組があれば、具体的にご記入ください。

- 野球部、男女ソフトテニス部で専門的な指導ができる地域の方に外部コーチとして来てもらっている
- 外部の指導員の方より練習や試合において専門的な指導をしていただいている

② 学校でのスポーツ活動の問題点・課題について

問10 学校でのスポーツ活動について、問題点・課題などがあれば、具体的にご記入ください。

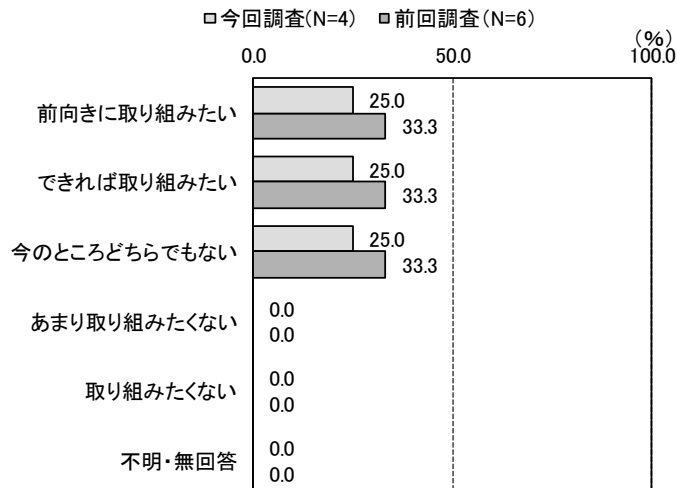
- 時間、活動場所、専門的に指導できる指導者の不足。
- 学校の行事（家庭訪問、懇談等）によっては、顧問が直接指導することができず、生徒だけの活動になってしまう時がある。事故や熱中症防止の観点から上記のことが課題としてあげられる。
- 働き方改革での見直した部分が薄すらいでおり、教師の負担が増えている。

③ 国民スポーツ大会について

【国スポへの参加意向】

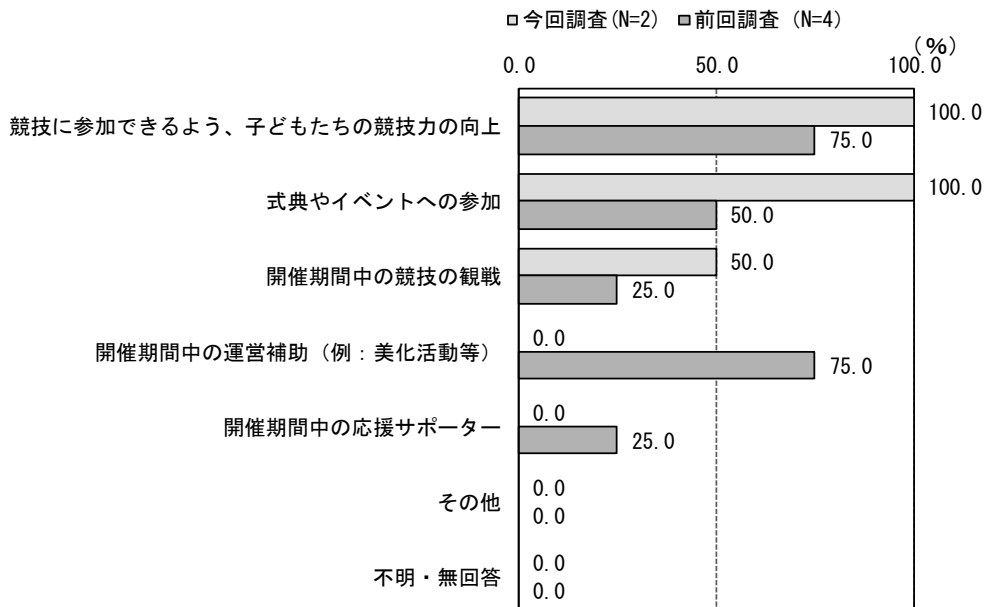
問 11 令和6年（2024年）に国スポが滋賀県で開催される見通しですが、貴団体は、国スポ開催についてどのような考えをおもちですか？（○1つ）

◆「前向きに取り組みたい」、「できれば取り組みたい」、「今のところどちらでもない」がそれぞれ25.0%となっている。



問 12 問 11 で「1 前向きに取り組みたい」、「2 できれば取り組みたい」と回答された団体におたずねします。具体的に、どのような形での国スポへの参画が考えられますか？（○いくつでも）

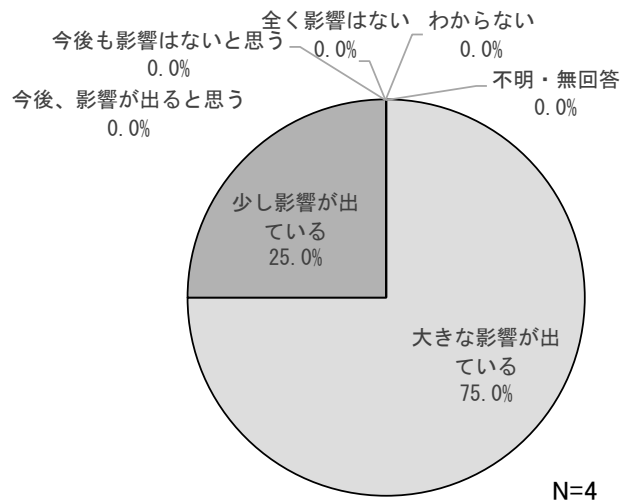
◆「競技に参加できるよう、子どもたちの競技力の向上」と「式典やイベントへの参加」は全2校で回答している。



④ 新型コロナウイルス感染症の影響

問 13 新型コロナウイルス感染症の流行は、中学生のスポーツ活動に影響を及ぼしていますか。(○1つ)

- ◆ 「大きな影響が出ている」が 75.0%、「少し影響が出ている」が 25.0%で、全校が影響が出ていると回答。
- ◆ 具体的には、「体育のできる活動の制限」「体力の低下」といった回答がみられる。



<具体の影響>

- 活動の制限
- 大会が中止になり、3年間積み上げた成果を発揮する場がなくなってしまった。
- 体力低下（自粛期間）によるけがや体調不良
- 体力の低下

⑤ 自由記述

問 14 学校でのスポーツ活動について、ご意見・ご要望などがあれば、ご自由にご記入ください。

回答なし

(4) 体育振興会連絡協議会

① 地域でのスポーツ活動について

【主催・共催の定期的イベント等】

問2 貴団体が主催・共催等で、定期的に実施している地域でのスポーツ活動やイベント等があれば、下記にご記入ください。(規模の大きな取組等を3つまで)

集計中

【主催・共催の非定期イベント等】

問3 貴団体が主催・共催等で、定期的に実施するもの以外で特に力を入れた地域でのスポーツ活動やイベント等があれば、具体的にご記入ください。(過去5年以内で、規模の大きな取組等を2つまで)

集計中

② 地域スポーツ振興活動の問題点・課題について

問4 地域でのスポーツ振興活動について、問題点・課題などがあれば、具体的にご記入ください。

- 大路区親睦大運動会以外は、参加者が少ない。協力体制（他の団体等）ができていない。
- 人間関係の希薄化により参加者が非常に少なく、スポーツを通しての地域活性化には程遠い。
- 運営委員（スタッフ）の動員が難しい。参加者募集が難しい。
- 役員になる人が少ない。いろんなことを企画しても参加者も少ない。当事者以外は関心がない
- 各イベントの参加者が減少している。また、体振組織への加入者も少ない。義務的に体振委員になった人のモチベーションが低い。
- ①役職（員）は現役の人も多いため事務局（3人）に仕事が集中負担が大きい。②役職（員）の担い手が少なく、お願いしても断られることが多い。③役職（員）を引き受ける方は、他の団体、組織の兼務も多く負担が大きい。
- 事業予算の減額、事業参加人数減少、組織運営の見直し、事業の見直し
- 少子高齢化と言われ続けていた往來の学区から、学区再編により若年層が増加し、学区全体を見ると年齢層が二極化している。しかしながら、まち協を含め、旧態依然の状態が少なからずあり、若年層からの生涯スポーツが長期的視点で考えられていない。また、新規事業を計画しても参加に消極的な町内会もあり、学区全体としてのコミュニティの向上が難しいところに課題を感じている。
- 各町内会の年齢構成が異なり、各町内会単位での参加イベントの実施が難しくなっている。例えば運動会等。

③ 今後の地域スポーツ振興活動について

【特に力を入れていきたい取組】

問5 今後、地域でのスポーツ振興活動を展開していくにあたって特に力を入れていきたいと考えている取組等があれば、具体的にご記入ください。

- グラウンドゴルフ大会の実施、高齢者スポーツ「国体競技」でコミュニケーション。
- 老若男女が気軽に楽しめるニュースポーツ等の普及が大切。スポーツを実践すれば心身とも健康になり、楽しいとの広報宣伝活動も大切。
- ニュースポーツを中心に各町内会への出前講座を実施して、これが大会への参加意識向上の一助になれば。
- 志津ふれあい広場（11月8日）開催への参加。
- スポーツ団体の支援、ニュースポーツ講習会の開催数の増加
- 消極的な地域への理解の促進と、若年層が参加しやすい、また、参加したくなる仕掛けの画策。学区単位もしくは地区単位での運動会型事業の創設
- まちづくり協議会全体で、参加者、協力者の数を増やす取組が必要。
- 今現在、学区での運動会は実施していないので、再度実施できるようにしていきたい。

【新たに取り組みたい種目】

問6 今後、地域でのスポーツ振興活動の中で、新たに取り組みでいきたいと考えているスポーツ種目があれば、具体的にご記入ください。

- ニュースポーツ
- ボウリング大会をやめて、ニュースポーツ中心にした”体振まつり”的なイベントを来春から実施しようと計画中
- 運動会以外で全年齢で楽しめるニュースポーツを実施・定着していきたい。
- 現時点では特にありません

【交流・連携したい団体】

問7 今後、地域でのスポーツ振興活動の中で、交流・連携したいと考えている団体等があれば、団体名や具体的な交流・連携の内容についてご記入ください。

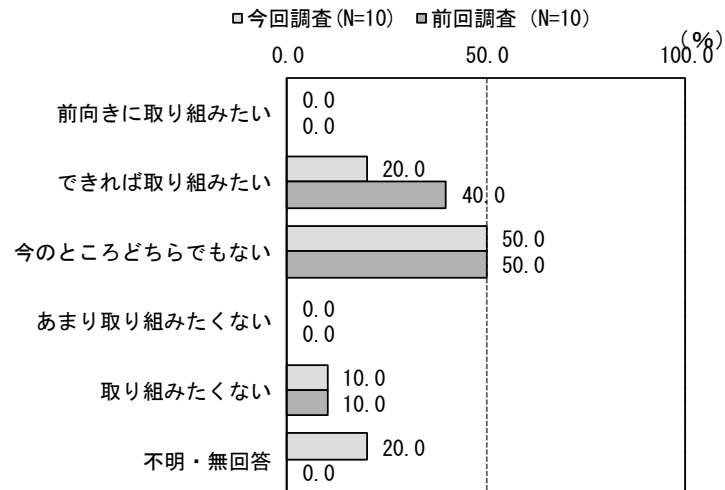
団体名	具体的な内容
志津スポーツクラブ	志津体振では毎年5月にミニスポーツ講習会を開催しているが室内でのスポーツが多く、各町に広がり欠いている。志津スポーツクラブは室内スポーツも多く連携が可能
他の学区にある体育振興会	よりフラットに、より手軽に互いの情報が共有できることで、参考にできることが多いと考えます。
-	まち協内で協議し、交流・連携の輪を拡大して行おうと考えているが、望みはかなり・・・

④ 国民スポーツ大会について

【国スポへの参加意向】

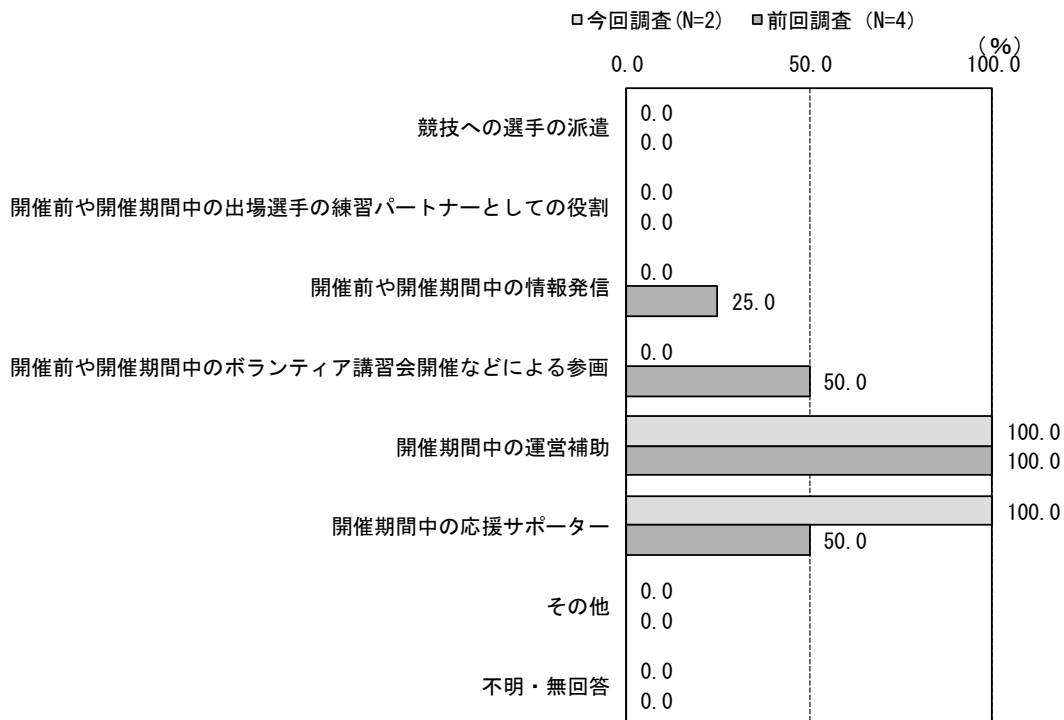
問8 令和6年（2024年）に国スポが滋賀県で開催される見通しですが、貴団体は、国スポ開催についてどのような考えをおもちですか？（○1つ）

◆ 「今のところどちらでもない」が50.0%と半数を占め、「できれば取り組みたい」が20.0%、「取り組たくない」が10.0%となっている。



問9 問8で「1 前向きに取り組みたい」、「2 できれば取り組みたい」と回答された団体におたずねします。具体的に、どのような形での国スポへの参画が考えられますか？（○いくつでも）

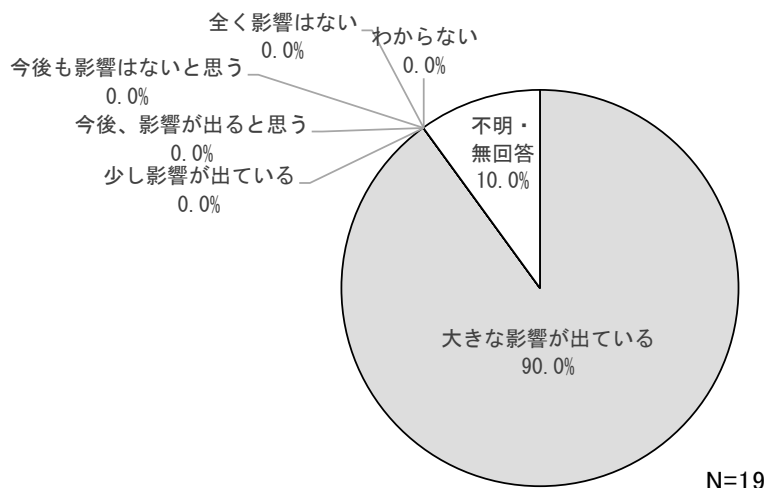
◆ 「開催期間中の運営補助」と「開催期間中の応援サポーター」との回答があった。



⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響

問 10 新型コロナウイルス感染症の流行は、貴団体の活動に影響を及ぼしていますか。(〇1つ)

- ◆ 「大きな影響が出ている」が90.0%と大多数を占める。
- ◆ 具体的には、事業や活動の中止といった内容が上がっている。



<具体の影響>

- メインイベントの「大路区親善大運動会」の中止。
- 行事そのものが中止せざるを得なくなっている。本年度は行事实施率0%の可能性も。
- 本年度行事すべて中止。
- 大会やそのための会議が開けない・
- ミニスポーツ講習会、ソフトバレーボール大会、志津ふれあい体育祭、草津市民スポーツ・レクリエーション祭 中止。
- 関連事業、主催事業の中止。役員会、委員会、総会の開催困難。
- 今年度予定行事はほとんど中止になっている。
- 7/24 現在、事業だけでなく会議さえも実行されていない。
- まず、基本的に事業ができない。
- イベントの中止及び延期。

⑥ 自由記述

問 11 地域でのスポーツ振興活動について、ご意見・ご要望などがあれば、ご自由にご記入ください。

- スポーツ振興活動に対する参加者、興味が年々減少しているように思われる。人生100年時代にあって、心身の健康は大切であり、益々重要になってくる。スポーツは実践すれば楽しいものである。等々の広報活動に力点をおくことも必要と思う。
- 志津体育振興会は、志津学区のスポーツ団体で全国大会（小学生のみ）に出場した方々に助成を行っている。又、スポ少、クラブ助成（ソフトボール、剣道、バスケ、サッカー、野球）にも体力の向上と健康を目的に毎年行う。市も優秀なスポ少、クラブには表彰金で報いては？
- 様々なところで市からの情報提供をいただいたり、場合によっては、備品を供用させていただくなど、感謝するところがたくさんあります。まずは、そのサービス体制が縮小されないことを望みます。また、ニュースポーツなど新たなことがどんどん増えているのでは？と勝手な想像をするところですが、具体を知らない現状があります。努力不足があることは否めませんが、そうした情報の発信をスポ推以外の住民が知れる機会を創っていただきたいです。

- もうちょっと的をしぼった質問で回答がしやすくしてほしい、記述は大変です。

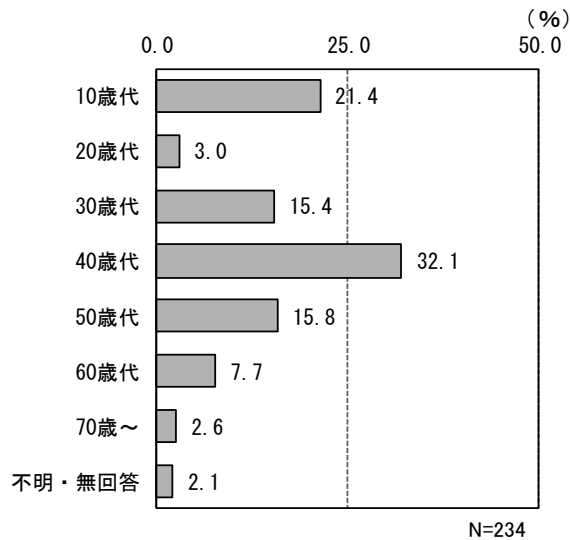
(5) スポーツ少年団

① 団体構成について

【運営者及び指導者（登録者）の年齢構成】

問2 貴団体の運営者及び指導者（登録者）について、概ねの年代別人数をご記入ください。

◆「40歳代」が32.1%と最も多く、次いで「10歳代」が21.4%、「50歳代」が15.5%、「30歳代」が15.4%となっている。



【選手（登録者）の年齢構成】

問3 貴団体の選手（登録者）について、概ねの年代別人数をご記入ください。

◆「男 小5~6年生」が37.3%と最も多く、次いで「男 小3~4年生」が30.7%となっている。
 ◆性別で見ると、男が87.6%と9割近くを占め、女は12.4%となっている。学年別にみると男女とも「小5~6年生」が多くなっている。

	男	女	計
小1~2年生	11.5	2.6	15.0
小3~4年生	30.7	5.1	33.4
小5~6年生	37.3	7.9	48.3
中学生	3.1	1.8	3.3
計	87.6	12.4	100.0

② 団体の運営・活動の現状について

【競技力向上や参加者を増やすための取組と成果】

問4 貴団体の活動において、競技力の向上や参加者を増やす為に行われている取組と成果について、ご記入ください。

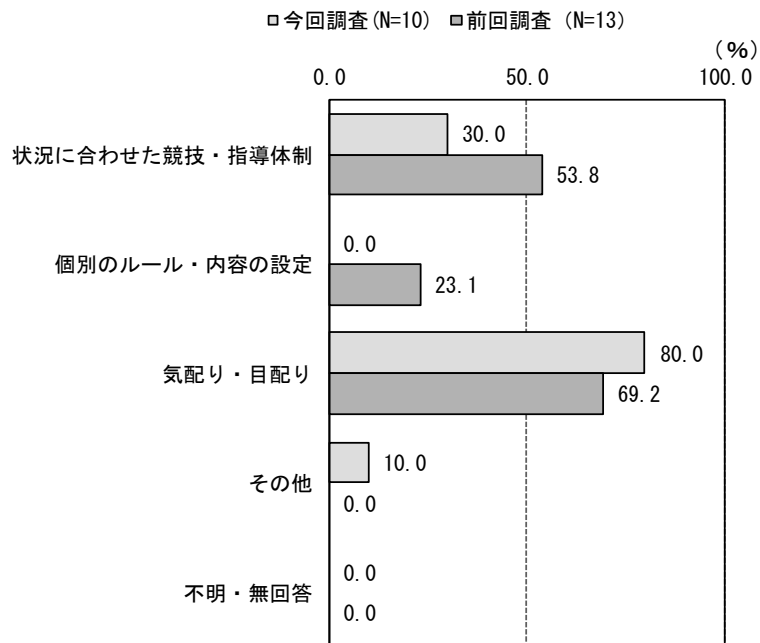
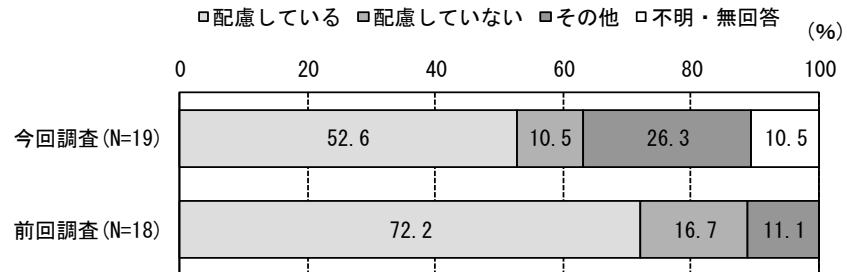
取 組	成 果
体験入団、低学年（ジュニア）チームの個別指導	地区優勝、近畿大会・西日本大会・県大会への出場
体験会の実施	県大会優勝1回、オリックスバップファローズ杯出場
滋賀県内の交流試合に積極的に参加している。団体募集チラシ配布と体験入団の呼びかけ及び開催実施。	全国大会参加はなし。県大会へは3～5年間隔で出場。目立った成果は出ていない。
毎週末の練習や対外試合、体験会の実施	各学区の団員獲得
練習の質を高める	男子：全国大会2回、近畿大会5回 女子：近畿大会1回
体験会（Tベースボール）	
・中学、高校に通じる技術力、知識力をつけるための指導を実践。 ・定期的な入団体験会と地域イベント等への積極的な参加	支部大会優勝7回、県大会出場7回、全国大会出場1回
声かけ、体験会	
保護者の負担を減らすために、当番（体育館など）をやめました。金銭的な負担の軽減、必要なお金以外は集めない。何十万、何百万と貯蓄しない。	全国大会11回出場、近畿大会7回出場
育成活動の充実、広報活動（各種会社への啓発）、facebook、志津地区の協力要請	県大会優勝2回、準優勝2回、3位1回、4位1回（全国大会2回出場計3勝2敗）
部員及び部員家族に向けたイベントの実施等、祭への参加	各大会県大会出場等
定期的に試合稽古（練習）及び強化練習を実施し技術等の向上を図っています。参加者を増加する対策としてホームページや剣士募集の広報等を行っています	平成31年度滋賀県道場少年剣道大会（小学生団体）3位（全国大会滋賀予選会） 全国道場少年剣道大会（小学生の部）2年連続出場
スポーツ傷害防止勉強会、メンタル向上研修の企画実施。外部研修参加による競技力（以下昨年度）近畿大会出場1回、県大会出場3回（優勝1回、準優勝2回）	全国大会出場2回（全スポベスト16、高円宮ベスト16）（以下昨年度）近畿大会出場1回、県大会出場3回（優勝1回、準優勝2回）
他地区との交流練習試合 月1回程度の体験会	令和元年度 草津地区優勝1回、準優勝2回
インターネットでの練習方法や経験にもとづいた指導による競技力向上、保護者の役割りの負担軽減	今年度団員人数の増加
年2回の団員募集チラシ配布と体験練習を年間を通して受け付けています	最近の県大会出場はありません
・合宿（1泊2日）・合同稽古会、・尚武館杯	滋賀県スポーツ少年団大会、県道場連盟錬成大会、全日本少年少女錬成大会出場
キッズスクールの設立（幼児～小学3年生）	全国大会1回、関西大会（ベスト8 2回）4回

【障害者への配慮】

問5 障害者の活動に配慮していますか？（○1つ）

どのような点に配慮されていますか？（あてはまるもの全てに○）

◆「配慮している」が52.6%となっており、配慮している点としては「気配り・目配り」が80.0%と大多数を占め、「状況に合わせた競技・指導体制」が30.0%と続く。



【他団体との交流・連携】

問6 他団体と、どのような交流事業やイベント、大会等を行っていますか？（○1つ）

- 連盟加入により、横つながりと情報交換。
- 志那少年野球さんとは年に1回交流を行っています。
- 交流イベント→草津市民の駅伝大会、草津市民スポレク祭への参加
軟式野球→滋賀県内各市からの招待試合に参加
大会への参加→滋賀県内中学ボーイズ、シニアチーム主催の交流野球大会への参加
- 年3回主催大会の実施、定期的な交流戦
- 練習試合、大会参加
- 交流大会
- 少年サッカー大会の実施
- 練習試合、合同練習
- レイクスターズとの交流
- 各他団体との交流試合、他団体主催の大会参加
- 今年の2月には、草津市内の各道場から小学生及び中学生をお招きして記念試合の大会を開催しました。また定期的に剣道の大会や合同稽古を志津尚武館で企画して草津市内の剣士連と交流を深めています。
- 団OBとの親善野球大会を通じた交流、学童、スポ少野球大会への参加、草津市学童軟式野球連盟主催大会への参加、近江八幡新チーム交流大会への参加 等
- 大阪や京都の強いチームに交流しています。
- 毎年12月末頃に矢橋帰帆島で「老上帰帆島交流野球大会」を2日間で18チームで交流しています。県下から敦賀からも参加して頂いています。今年で第11回目です。
- 他団体への招待試合や交流戦に参加し、自チームとして交流のあるチームで常盤カップ（招待試合）を開催し、強化・交流を行っている。
- ①合同稽古会、②剣道錬成大会での試合、③合宿
- 体文振所属でもあり、矢倉地域行事等において交流。

③ 団体の練習について

【団体の練習場所】

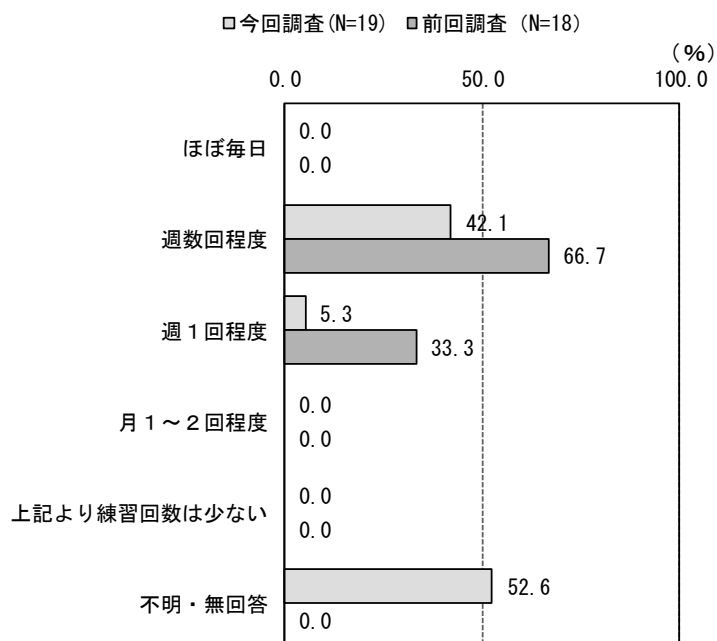
問7 貴団体が普段の練習時に使用している主な施設や場所についてご記入ください。(複数会場でも可)

練習場所	件数
小学校	25
YMIT	1
市総合体育館	1
ふれあい体育館	1
草津交流プラザ	1
草津警察署道場	1
西矢倉本部道場	1
山田本部道場	1
精神保健医療センター	1
市外	1

【団体の練習頻度と参加人数】

問8 貴団体における、1ヶ月の練習頻度、主な練習曜日、平均参加人数(1回当り)についてご記入ください。(複数回答可)

◆頻度は「週数回程度」が42.1%と最も多い。



【強化合宿や他チームとの合同練習等】

問9 強化合宿や他チームとの合同練習等【普段の練習よりも大がかりなもの】で主に使用している施設や場所（市外含む）、年間の回数、平均参加人数、宿泊の有無（該当箇所には○印）、平均宿泊者数について、ご記入ください。＜練習会場と宿泊場所が異なる場合は、「使用会場」の欄にどちらも記入願います。＞

集計中

④ 参加・開催する大会等について

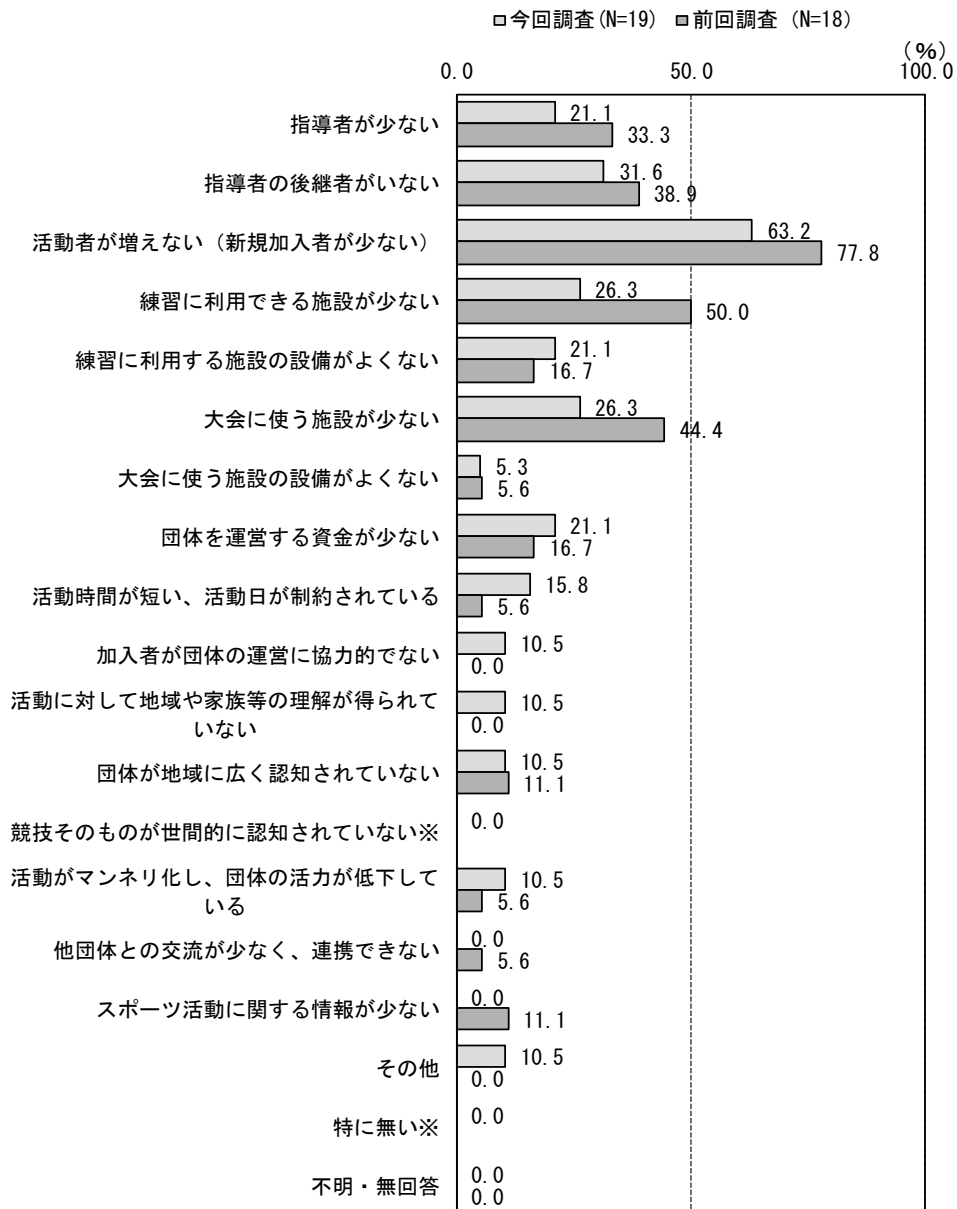
問10 貴団体が参加・開催している定期的な大会等の名称、開催レベル（該当箇所には○印）、主に使用している施設や場所、年間の開催回数、平均参加人数、平均観客数、宿泊の有無（該当箇所には○印）、平均宿泊者数についてご記入ください。

集計中

⑤ 団体における問題点、課題について

問 11 貴団体の運営・活動について、現在、問題となっていることは何ですか？（〇いくつでも）

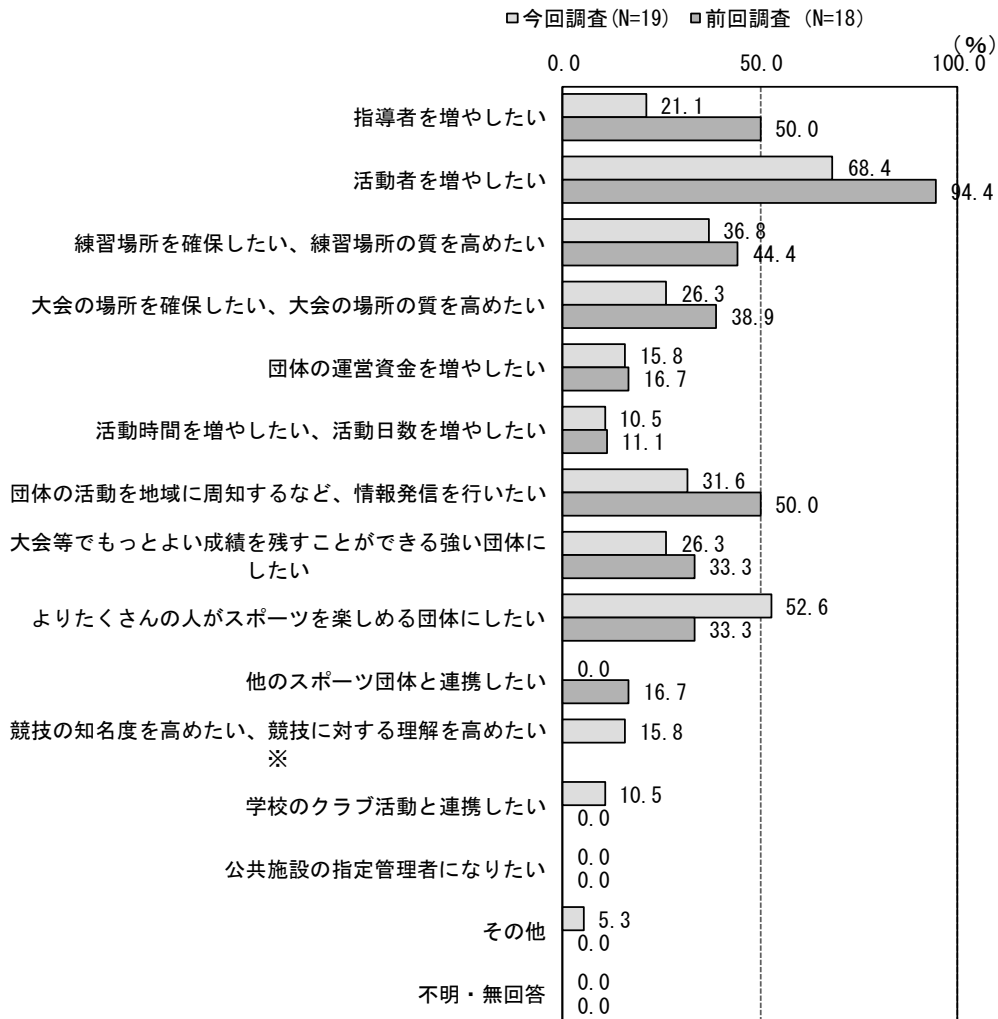
- ◆ 「活動者が増えない」が63.2%と6割を占め、次いで、「指導者の後継者がいない」が31.6%、「練習に利用できる施設が少ない」（26.3%）、「大会に使う施設が少ない」（26.3%）が同率で続く。
- ◆ 前回調査と比較すると、「活動時間が短い、活動日が制約されている」「加入者が団体の運営に協力的でない」「活動に対して地域や家族等の理解が得られていない」がそれぞれ約10ポイント増加している。



⑥ 今後の活動について

問 12 貴団体の運営・活動について、今後どのようにしていきたいですか？（〇いくつでも）

- ◆ 「活動者を増やしたい」が68.4%と最も多く、次いで「よりたくさんの方がスポーツを楽しめる団体にしたい」（52.6%）、「練習場所を確保したい、練習場所の質を高めたい」（36.8%）、「団体の活動を地域に周知するなど、情報発信を行いたい」（31.6%）と続く。
- ◆ 前回調査と比較すると、「よりたくさんの方がスポーツを楽しめる団体にしたい」が19.3ポイントと大きく増加しており、逆に「指導者を増やしたい」「活動者を増やしたい」が大きく減少している。

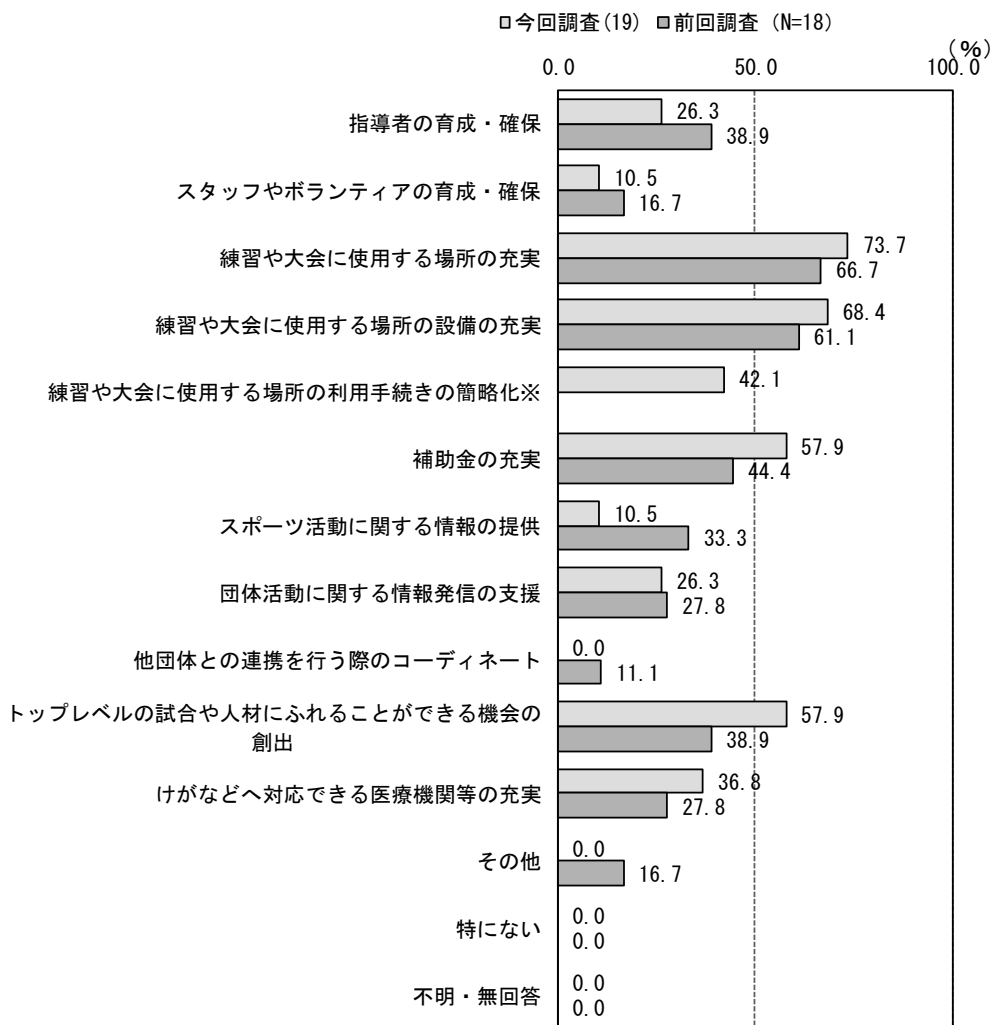


⑦ 行政に期待している点

【行政に望む支援】

問 13 貴団体の今後の活動のため、特に行政への支援を望まれる点がありますか？（〇いくつでも）

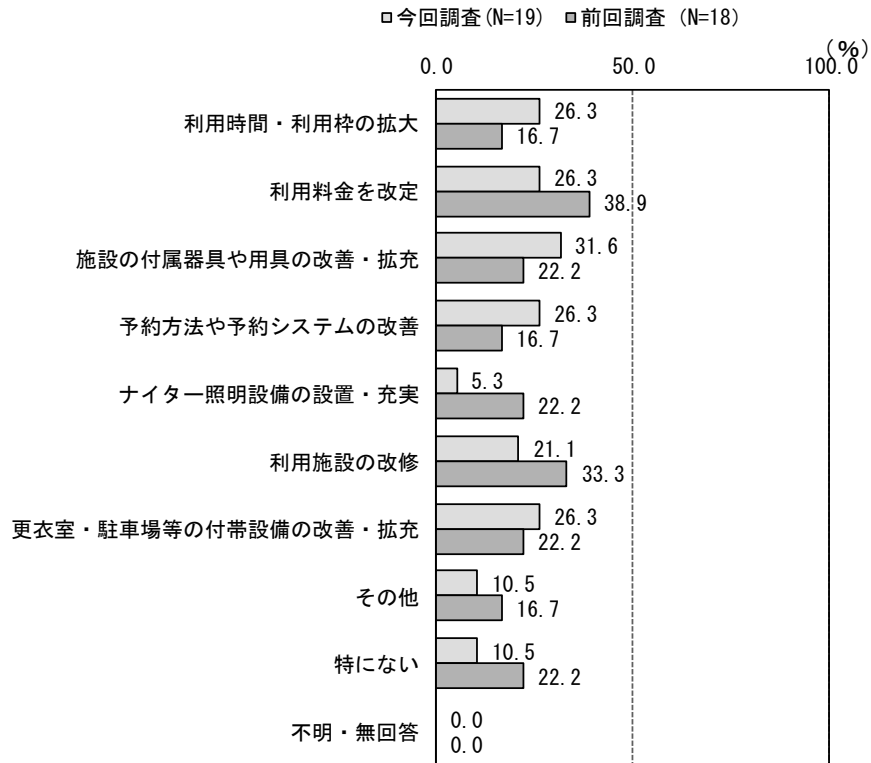
◆ 「練習や大会に使用する場所の充実」が73.7%で最も多く、次いで「練習や大会に使用する場所の設備の充実」(68.4%)が続き、「補助金の充実」(57.9%)と「トップレベルの試合や人材にふれることができる機会の創出」(57.9%)が同率で続く。前回調査と比較すると、大きく増加しているのは、「トップレベルの試合や人材にふれることができる機会の創出」が19.0ポイント、「補助金の充実」が13.5ポイントで、逆に、「スポーツ活動に関する情報の提供」は22.8ポイント減少している。



【活動施設に関する要望点】

問 14 貴団体が活動されている施設について、どのような点の充実を望まれますか？（〇いくつでも）

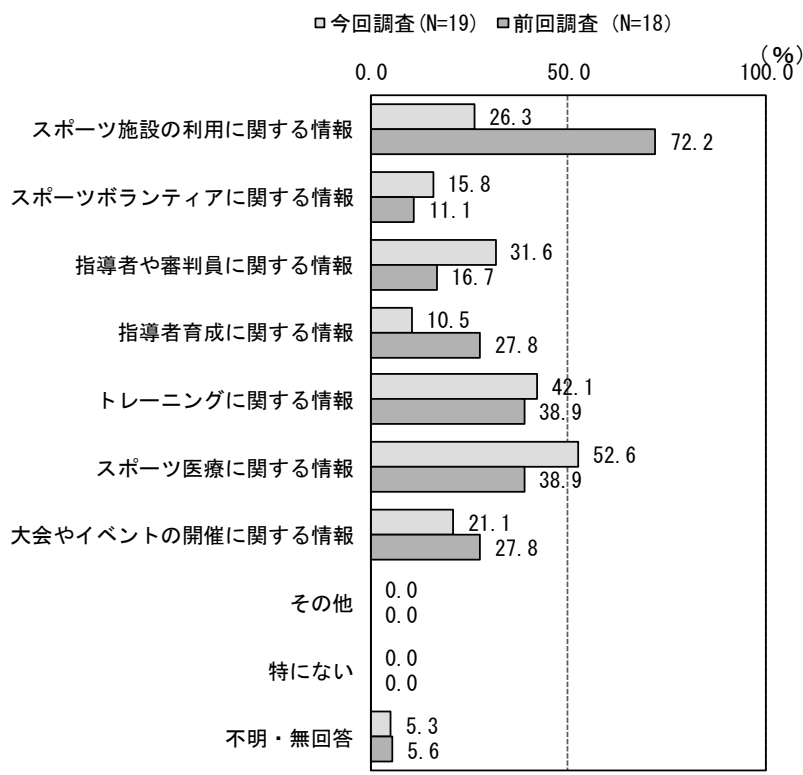
◆ 「施設の付属器具や用具の改善・拡充」が31.6%と最も多く、「利用料金を改定」「利用時間・利用枠の拡大」「予約方法や予約システムの改善」「更衣室・駐車場等の付帯設備の改善・拡充」が同率で続く。



【行政に望む情報】

問 15 スポーツに関する情報について、行政からどのような情報を望まれますか？（〇いくつでも）

◆「スポーツ医療に関する情報」が 52.6%で最も多く、「トレーニングに関する情報」が 42.1%と続く。前回調査に比べて「スポーツ施設の利用に関する情報」が 45.9 ポイントと大きく減少している。

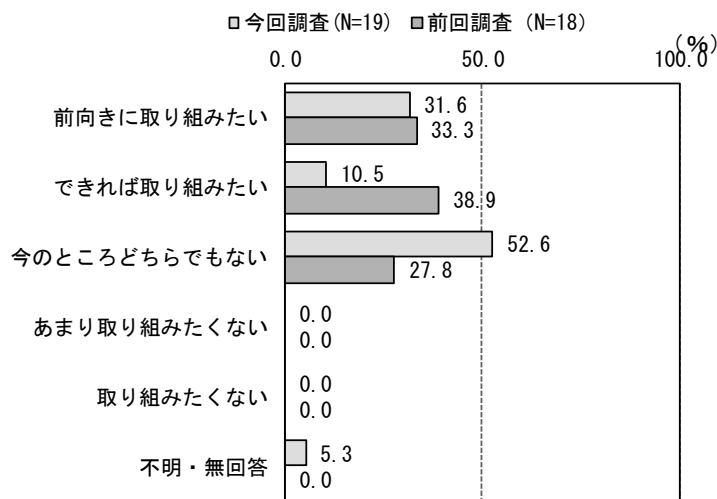


⑧ 国民スポーツ大会について

【国スポへの参加意向】

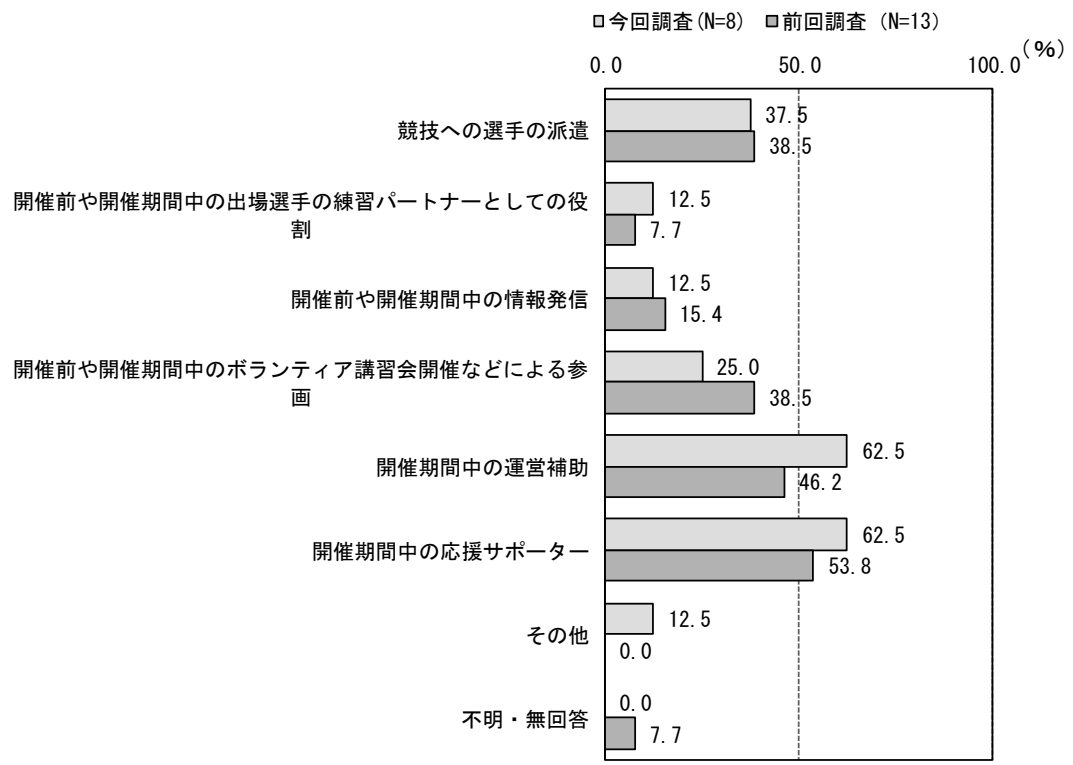
問 16 令和 6 年（2024 年）に国スポが滋賀県で開催される見通しですが、貴団体は、国スポ開催についてどのような考えをおもちですか？（〇1 つ）

◆「今のところどちらでもない」が 52.6%と半数を占めるが、「前向きに取り組みたい」（31.6%）と、「できれば取り組みたい」（10.5%）をあわせると、約 4 割が取り組み意向を示している。



問 17 問 16 で「1 前向きに取り組みたい」、「2 できれば取り組みたい」と回答された団体におたずねします。具体的に、どのような形での国スポへの参画が考えられますか？（〇いくつでも）

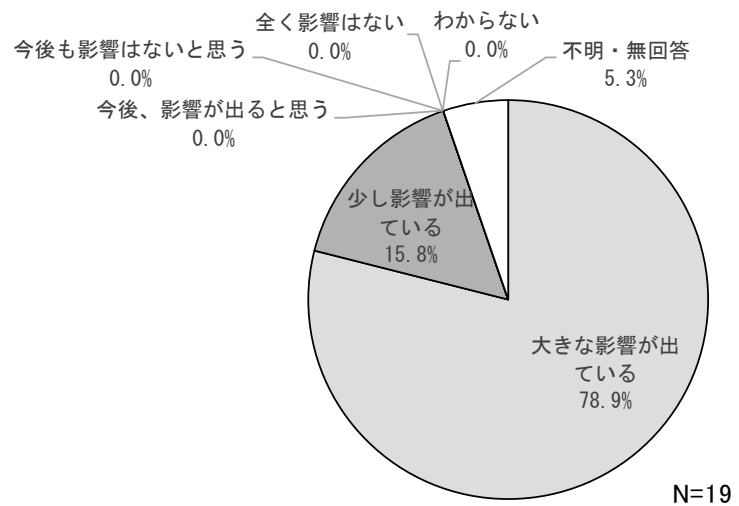
◆「開催期間中の運営補助」と「開催期間中の応援サポーター」が各 62.5%と最も多く、次いで「競技への選手の派遣」（37.5%）が続く。



⑨ 新型コロナウイルス感染症の影響

問 18 新型コロナウイルス感染症の流行は、貴団体の活動に影響を及ぼしていますか。（〇1つ）

◆「大きな影響が出ている」が 78.9%、「少し影響が出ている」が 15.8%で、9 割が影響が出ていると回答。
 ◆具体的には、練習や大会の中止、それに伴う子どもの体力低下、意欲の低下といった内容が上がっている。



<具体の影響>

- 練習ができない。感染対策が万全にはできない。
- 各大会の中止、練習でのコロナ対策の実施。
- 小学校6年生は学童大会最後の年でもあり、公式試合が減少され成長の度合いが狭くなってきている。練習出来ないことが子どもの成長の足を引っ張っている。
- 練習の自粛、公式戦の中止。
- 練習時間及び大会中止による試合数の減少。また、活動ができなくなる。
- 練習不足、体験会が実施できていない、活動指針により行動が制約されている。
- 例年に比べて、練習試合機会の減少。
- 活動自粛中で活動出来ず。
- たくさんの大会や試合がなくなった事や練習場所がなくなった事で選手のモチベーションがおちた事。
- 練習、試合ができていないこと。
- 長期的な活動の自粛、大会の中止、運営上の会議開催の自粛、各イベントの中止又は自粛 等
- 3月末から6月まで小学校の体育館が使用できなかった
- 団活動の停止、縮小
- 連盟のいくつもの大会や交流しているチームの大会や練習試合が出来なかった。子どもたちの体力の低下等
- 活動の場の保障、技術の向上、意欲・向上心。
- 試合も練習もできない時期が4ヶ月ほどあり、子どもの体力やモチベーションが下がっている。最近、新型コロナウイルスの第二波が近づいている様に思う。先が読めない、
- 3月から6月末、7月初旬迄活動自粛し、前期にて習得すべきことの遅れ、体力の低下、今やるべきことがなかなか出来ない。
- 感染対策 消毒作業はもとより面シールド、マスク対策などで、今後熱中症になりやすい環境となるので心配です。

⑩ 自由記述

問 19 スポーツを通じたまちづくりを進めていくにあたって、市民スポーツのあり方、スポーツ団体の活動のあり方等に関してご意見等がございましたら、ご自由に記入ください。

- 草津市スポレク祭りの取り組み方が全く精力的ではなく、業務の帳面消し扱いとなっている。
- ①草津市は他市に比べ学童野球（少年含め）をする専用球場、グラウンドがなく、2年以内を目処に造ってもらいたい。草津グリーンスタジアムは軟式野球も出来る様になっているが、費用面でも高くつく等の問題もあり、安価な専用グラウンドが欲しい。②全国スポ少の指導者免許制度となり（令和2年度から）ます。取得者は、更新制度となり高額な費用が伴います。スポーツ少年団員も減少化で各チームには、団運営費も減少しており、直近では一番困った問題となっている。日本スポーツ協会への意見具申をお願いしたい。
- 地元の子ども達での活動なので、学校開放での練習場所の確保を他団体と平等ではなく、優先的に利用させてもらえるとありがたいです。今年度はとうとう平日練習で地域の小学校での活動ができなくなり、遠方での活動となり送り迎えによる親の負担がかなり大きくなりました。
- 青少年育成には、スポーツは大切な要因だと思います。すぐに結果が出るわけがないので、長期的な視点で施策して頂けますようよろしくお願い申し上げます。
- 子どもから大人まで又は個人か団体競技とたくさんあります。また、目的も違ってしますので判断として難しいとは思いますが、年間通して又常により成績を残している団体、個人さんに対しては練習場所を優先的に使わせてほしいです。市の健・交クラブはお金も場所も市から優先的に支給されているのはどうかと思い、それによって公平ではないです。団体にもっと市として考えるのであれば全国的に通用する指導能力のある方が必要だと思います、現在ではいませんし、全国レベルでは47番目です。
- スポ少として活動していますが、何ととっても小学校の協力、連携が必要です。先生方の中にはご理解いただいていない（批判的な）方も多いです。この点なんとかしたいです。
- 町や地区主催のイベントにスポ少団体として参加することで、市町とのふれあい、合流の機会が得られ、又、活性化にも繋がると考えています。今年は各イベント・大会の中止が相次いでいますが、今後もイベント等への参加を積極的に行い、部員（小学生）の良き体験となれば良いと考えています。
- 新型コロナウイルス感染防止の要請が草津市スポーツ少年団より発出されたが、団活動中止期間中にチーム練習、他市への練習試合を行ったチームがあるが、そのチームが学童野球大会に参加していることに感染拡大の不安を強く感じる。
- 入団者の減少に存続に危機感を持っています。多くの他の団も同様です。休団中の団も多々あります。体験会を開催したり、色々対策を考えて活動運営をしています。学校にチラシ配布をお願いしても協力的ではありません。スポーツ少年団の魅力を市行政が市民にもっと伝えてほしい。施策や施設が立派であっても子どもたちがいなかったら本末転倒ではないでしょうか。
- スポーツ団体として、親の負担が多いのではないかと。各家庭のライフスタイルが違ってきている現状で、当番などが義務化が暗黙のルールになっていることが、いまだに習慣化していることは問題であると感じる。指導者の知識、指導方法が昔とかわらない。時代が変わる中で指導者の意識やスキルアップが必要であると感じる。
- グラウンド等、施設の充実、小さな子どもからお年寄りまで安心して利用出来るようお願いしたい。夏場等、熱中症等予防あるが、草津野外施設、風が無く、かなり厳しい状態。ハード、ソフト面においても皆が安心して楽しく出来るよう、皆で工夫し協力していく事が大切だと思う。我々団体も微力ながら協力していきます。

(6) 総合型地域スポーツクラブ

① 団体構成について

【運営者及び指導者（登録者）の年齢構成】

問2 貴団体の役員及び指導者（登録者）について、概ねの年代別人数をご記入ください。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～	合計
人数（人）	0	0	0	0	0	4	27	31
構成比（％）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9	87.1	100.0

【会員の年齢構成】

問3 貴団体の会員（登録者）について、概ねの年代別人数をご記入ください。

<学生>

	～小学生	中学生	高校生	大学生		合計
人数（人）	293	6	0	0	/	299
構成比（％）	98.0	2.0	0.0	0.0		100.0

<社会人>

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～	合計
人数（人）	0	0	0	15	12	60	202	289
構成比（％）	0.0	0.0	0.0	5.2	4.2	20.8	69.9	100.0

② クラブ活動について

【他地区クラブとの交流・連携した取組】

問4 クラブ活動について、他地区のクラブ（市内・市外）等と交流・連携している取組があれば、下記にご記入ください。

- 滋賀県では総合型地域スポーツクラブは 55 クラブあり、その殆どが滋賀県総合地域スポーツクラブ連絡協議会（しがSCネットワーク）に加入し、クラブ間の情報交換、研修、交流に関する事業などを実施し、各クラブの円滑な運営や地域への定着化を図り、生涯スポーツ社会の実現に向けて活動している。

事業例として、①スポーツ交流大会

- ・卓球の部 ・ビーチボールの部 ・ボウリングの部 ・グラウンドゴルフの部
- ・ウォーキングの部 ・カローリングの部 藪美祭の部 など

②研修会

- ・子どもの運動習慣アップ支援事業
- ・総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 など

【他団体等との交流・連携した取組】

問5 クラブ活動について、他団体（学校、地域、競技スポーツ団体等）等と交流・連携している取組があれば、下記にご記入ください。

- 草津市のスポーツ推進計画の実現に向けて、市のスポーツ推進を牽引している3団体（市スポーツ協会・市体育振興会連絡協議会・市スポーツ推進委員協議会）をはじめ、関係団体とも連携しながら「くさつ健・交クラブの事業活動」を展開してきた。
 - ・第17回チャレンジスポーツデー、第22回草津市スポーツ・レクリエーション祭、第65回草津市駅伝競走大会の参加などを通じて団体との協力関係を推進
 - ・市スポーツ推進委員協議会にくさつ健・交フェスタへの参加要請および障害者スポーツ体験、夏休み子ども運動教室の指導依頼
 - ・年3回のボウリング大会を草津市ボウリング協会と共催
 - ・市スポーツ推進連絡協議会、市スポーツ推進審議会、市総合計画策定市民会議に委員として参画
 - ・「カラダいいこと体感！みんなの健幸フェア」においてノルディックウォーク体験ブースを出店
 - ・草津学区体育振興会とのプロ野球観戦（京セラドーム）ツアー共催

③ 現在のクラブ活動の問題点・課題

【クラブ活動を行う上での問題点・課題】

問6 クラブ活動を行う上での問題点・課題などがあれば、下記にご記入ください。

- クラブ設立以来12年が経過し、会員数も徐々に増加しているが、活動場所が限られ使用頻度や時間が制限されており、会員から様々な意見を聞きながら目的としている会員および地域の人々に対して、スポーツと文化に親しめる環境づくりに関する事業を実施している。
- こうした中で、組織が大きくなってきたことによって、クラブ全般を掌握し、運営の指示を担う者の負担も大きくなってきていること。また、設立当初よりクラブの根幹となる運営体制をボランティアスタッフで進めているが、この運営スタッフも高齢になり、スクールやサークル運営の負担が大きくなってきている状況にあること。このことと合わせ、ボランティア人材の新陳代謝が十分に図れず、ボランティアの人材不足に陥っていることが挙げられる。

④ 今後の地域でのスポーツ振興活動

【今後力を入れていきたい取組】

問7 今後、クラブ活動を展開していくにあたって特に力を入れていきたいと考えている取組等があれば下記にご記入ください。

- 草津市のスポーツ推進計画の実現に向けて、市のスポーツ推進を牽引する3団体（市スポーツ協会・市体育振興会連絡協議会・市スポーツ推進委員協議会）をはじめ、行政や他団体とも連携し事業を展開する。
 - ・草津市スポーツ・レクリエーション祭、草津市駅伝競走大会の参加などを通じて他団体との一層の協力関係を推進する。
 - ・スポーツ推進委員協議会に、くさつ健・交フェスタ、障がい者スポーツ体験、夏休み子ども運動教室への協力を要請する。
 - ・チャレンジスポーツデーへの参加を継続する。
 - ・のボウリング大会を草津市ボウリング協会と共催する。

- ・草津川桜557フェスタ in2021 事業に協賛参加する。
- ・草津学区体育振興会とプロ野球観戦（京セラドーム）ツアー共催する。
- ・ノルディックウォーキングの推進など、学区まちづくりセンター事業に協力する。
- ・草津市スポーツ推進連絡協議会、草津市スポーツ推進審議会、市総合計画策定市民会議に委員として参画する。

【新たに取り組んでいきたいスポーツ種目】

問8 今後、クラブ活動の中で、新たに取り組んでいきたいと考えているスポーツ種目があれば下記にご記入ください。

- 特になし

【今後、交流・連携したいと考えている団体等】

問9 今後、クラブ活動の中で、交流・連携したいと考えている団体等があれば、団体名や具体的な交流・連携の内容について下記にご記入ください。

団体名：

- 草津市スポーツ協会

具体的内容：

- 国（スポーツ庁）が進めている総合型地域スポーツクラブにおける登録・認証制度においては、国・県・市のスポーツ協会との連携が今まで以上に必要となるため。

⑤ 国民スポーツ大会について

【国スポへの参加意向】

問10 令和6年（2024年）に国スポが滋賀県で開催される見通しですが、貴団体は、国スポ開催についてどのような考えをおもちですか？（○1つ）

- できれば取り組みたい

問11 問19で「1前向きに取り組みたい」、「2できれば取り組みたい」と回答された団体におたずねします。具体的に、どのような形での国スポへの参画が考えられますか？（○いくつでも）

- 開催前や開催期間中の情報発信

⑥ 新型コロナウイルス感染症の影響

問12 新型コロナウイルス感染症の流行は、貴団体の活動に影響を及ぼしていますか。（○1つ）

- 大きな影響が出ている

<具体の影響>

- クラブ活動（教室及びサークル20種目・イベント）の4か月間の休止
- 会員の減少（例年より約60名の減、7月時点）
- このことによる収入の減

⑦ 自由記述

問 13 地域でのスポーツ活動について、ご意見・ご要望などがあれば下記にご記入ください。

- 総合型地域スポーツクラブ育成が開始されて 20 余年が経過し、全国で活動している総合型クラブは今や 3,500 を超えている。総合型地域スポーツクラブは、地域住民が主体的に参画し、自発的な活動を行う特徴を有しており、地域コミュニティの核となることが期待されているが、組織体制や財務基盤の脆弱なクラブが多いことなど課題が山積している状況にある。今後、総合型地域スポーツクラブは、「質的な充実」も重視しながら、持続可能な「社会的な仕組み」として定着させる取り組み（特に運営に携わるボランティアの育成）が必要である。

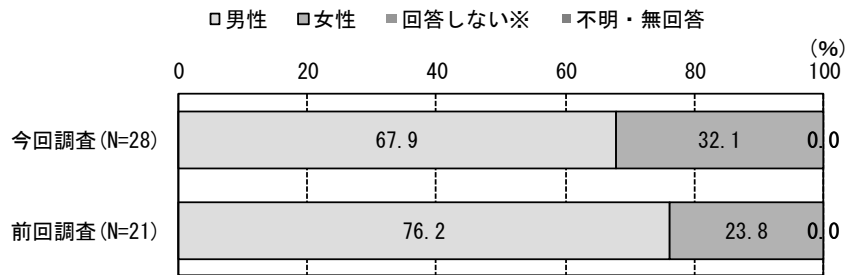
(7) スポーツ推進委員

① 属性

【性別】

問1 あなたの性別は。(○1つ)

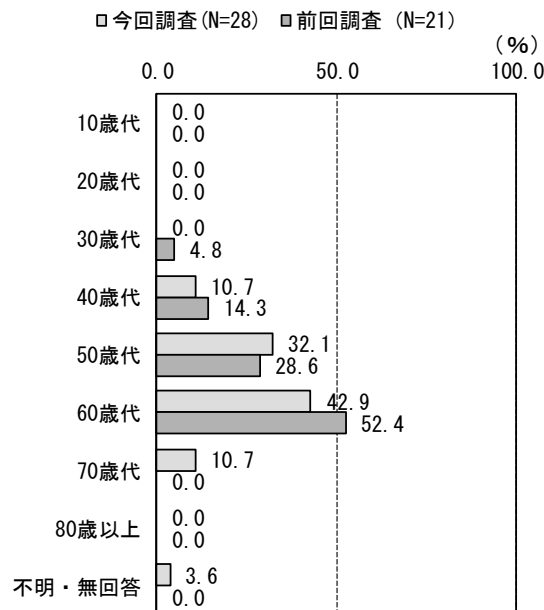
◆「男性」が67.9%、「女性」が32.1%となっており、前回調査に比べ、「女性」が8.3ポイント増加している。



【年齢】

問2 あなたの年齢は。(○1つ)

◆「60歳代」が42.9%と最も多く、次いで「50歳代」が32.1%、「40歳代」「70歳代」がそれぞれ10.7%となっている。



【活動地域】

問3 あなたの活動地域をご記入ください。

洪川	大路	常盤	志津	志津南	南笠東	老上	老上西	笠縫	笠縫東	玉川	草津市
2	1	1	2	4	1	1	2	2	2	1	2

② 地域での活動について

問4 地域でのスポーツ推進活動について、地域のスポーツ活動への参加者の増加、競技力向上、健康増進など、成果があったと感じる取組があれば、具体的にご記入ください。

- スポーツクラブへの参加、幅広い年齢の人の参加により、スポーツを通じての交流、モチベーション向上、スポーツ技術の向上。
- スポーツまつり（運動会）、ウォーキング、ニュースポーツなど年々参加人数がふえてきています。高齢化してきているので、誰でもできる無理のない種目を取り入れている。
- 地域サロン（高齢者対象）（学区民児協、社協）にてコグトレ、ニュースポーツ推進活動するも、その機会が提供されているが、同じ人の参加に留まっている。
- 歩こう会。
- 所属地域にての体振行事で年3回歩こう会を企画し実施している。昨年は参加者が回を重ねる度に増加している。交通費を安くし、興味ある場所を選定し、行っている。距離は8～12km
- 歩こう会の各地区ごとの活動は、高齢化に対して有効と考えるが、参加者が特定されている。興味を持たれる方が少ない。
- 当学区では、平成14年（2002年）に志津スポーツクラブが有志により結成されました。会員67名、年10回開催と記録されています。平成29年には15周年を迎え、現在に到っています。「いいあせと、ふれあいを！」をスローガンに、いつでもだれでも、すきなときに、レベルを問わず会員をつのっています。健康寿命への大切さを、もっと広げて行きたいと考えています。
- 出張で小学校へ、ニュースポーツの出張講座を行った時、小学生の子供達及び親子さんの笑顔を見た時、良かったなあと感じます。
- チャレンジスポーツデーでウォーキングを取り入れているが、毎年楽しみにしているとの声を聞く。参加者も老若男女が多く参加いただいている。
- ニュースポーツを通じて学区民に無理なく運動（体を動かす）してもらう事を進めています
- 昨年初めて防災運動会を開催し、地域のボランティア団体も参加して炊き出し等も行い参加者も競技も持って参加していただいた。
- 総合型地域スポーツクラブの運営に参加し、人員募集などの活動をしている中、卓球を希望する人達が多く、参加者も増えてきている。
- ALL老上スポーツクラブの設立。ALL老上体育振興会のイベントへの参加人数の増加。新しい住居が増え、若い世代（主にファミリー）が増えた事により、”ふれあいスポーツ大会”は特に参加人数が増加した。また、もともと住んでいた人が、退職等により”歩こう会”や”グラウンドゴルフ大会”に参加するようになり、参加人数が増加した
- 笠縫健康ウォーキングの実施、5km程のウォーキングを楽しみ、子ども達と高齢者も一緒に広場で宝探しゲームやおやつタイム、を通して帰途にまちづくりセンターまでウォーキングで解散になります
- 地域の歩こう会、チャレンジスポーツや地域主催のグラウンドゴルフ
- 草津市体力づくり歩こう会に地域からの参加者が増えました。自身が所属するバトミントンサークルにも経験者、初心者が数名増えました。
- 体力測定や楽しいイベントなどを組み合わせて行っている。
- オール老上スポーツクラブに参加することで、地域おこしにつながっているかんじがすることです。
- 歩こう会の参加者の増加につながる。情報誌、くさつ広報などの露出やPRが増えた
- 年一度の地域主催の「歩こう会」顔見知りの方同士誘い合わせ、自己負担も少ないので参加しやすい様子

問5 地域でのスポーツ推進活動について、上記以外に他地域や他のメンバーに自慢ができるような、特徴的な取組をされていれば、具体的にご記入ください。

- (スポーツまつり時) 地域内の自主防災委員の協力を得て、手作りタンカーをつくり、競走→防災時のタンカー作りを学ぶ、環境美化委員の協力を得て、ゴミ出しの分別、スピードを競い合う→ゴミ出し分別の再確認。
- 体育(スポーツ)振興会と活動を供にし、“ちょいスポ”なる事業をチャレンジスポーツデーや運動会とは別に実施している。
- 消防団ポンプ操法(ストレッチや体操が基本)
- 毎月1回、小学校のグラウンドを借り、夕方5~7時にペタンクの練習を実施している。雨天以外、現在はコロナで中止している。
- ソフトボール大会、ソフトバレー大会、草津スポレク祭への参加、学区民運動会の実施、チャレンジスポーツデーの実施、フットサル大会、卓球大会、毎年各町の体育委員の協力のもと実施。※参加者が特定されてきたところが問題。また、マンネリ化も危惧される。
- 最初は、学区内のみでの活動をしていましたが、結構口コミでの入会が増えております。近江八幡市、湖南市、栗東市、大津市からの参加者がおります。運動場ではグラウンドゴルフ(年間最後成績で表彰)、体育館内では、技術のへだたりなく、卓球、バトミントン、ニュースポーツなど紹介しながら楽しくスポーツを行っています。
- 体育振興会と共に運動会や春、冬のスポーツイベントを行っている。
- スキーの指導に力を入れ、年2回のスキーツアーを実施している。シニアとジュニアの参加者が多数ある。(長野県ツアー約30名/回、北海道ツアー約15名/回)シニア及びジュニアのスキーヤーが安全に楽しいスキーライフをおくれるように指導
- スポーツ推進委員ではないが、体育振興会会長が各町の老人会を対象にニュースポーツの紹介をかねて、敬老会の時などに体験してもらうようにしている。
- 草津市スポーツ推進委員で歩こう会を実施している。
- ニュースポーツ指導を通じて普及につとめています(バトミントン、スリータッチ、バウンドテニス)。卓球に関しては普及しつつあります
- 学区のスポーツクラブでは、長年にわたり活発な活動をされています。学区外、市内、市外からも参加されます
- スポーツクラブ(地域総合型)を近年立ち上げたが、スポ推のわたし自身、仕事の都合でほとんど参加(手伝い)等もできていないので様子は詳しくわからないのですが、いろんな地域発信の書類でPRされている。
- 約8年前から町づくりの一つとして、子供運動教室(未就学の子はリズム体操)、小学生はダンスの教室を作りました。地域での発表会もあり、楽しくレッスンしています。

問6 地域でのスポーツ推進活動について、他地域のメンバー等と交流・連携している取組があれば、具体的にご記入ください。

- 今はほぼ休眠状態であるが、渋川、大路、草津、矢倉、山田でペタンククラブを創めた。現在渋川、大路の一部の人間で活動している。
- 学区の活動で精一杯。
- 特に、他地域との交流はありませんが、当クラブにおられた会員さんが、老上でスポーツクラブを立ち上げられた事を大変うれしく思います。
- 歩こう会、運動会、その他スポーツ競技は、老上と老上西合同で活動しています。
- 近畿スポーツ推進委員研修協議会に参加させていただき、いろいろな活動があることを勉強させていただいたこと。
- 各イベントや研修会において交流できている。
- 体育振興会メンバーは毎年変わるため、年初に懇親会を行っている。
- スキーについては、指導者及びスタッフはしない全域のメンバーに協力をしていただいている。
- 老上、老上西学区を” ALL 老上”として、イベントを行っている。
- チャレンジスポーツのディスコンゲームには日頃ディスコンクラブで腕をみがいている人が4名程応援に来てくれます（笠縫東、志津など）
- 役所からの応援依頼等があれば参加している。
- 学区のスポーツクラブでは、長年にわたり活発な活動をされています。学区外、市内、市外からも参加されます。
- 特にはないですが、年一回の老上、老上西のスポーツ大会の運営は特にスポ推8人で集まり、進行、運営について事前に自分たちで集まり打合せ等している。時々、反省会、懇親会等も自分たちで企画し行っていた。

問7 地域でのスポーツ推進活動について、各種団体（高校や大学、競技スポーツ団体、地域スポーツ団体等）等と交流・連携している取組があれば、具体的にご記入ください。

- 卓球、バウンドテニス、ソフトボールにおきまして、経験者の指導を受けています。卓球、バウンドテニスについては、老上の谷あさこ市に指導（月2回）、ソフトバレーボールについては、地域クラブの方に指導を受けています。
- 特にはありません。運動会では地域の環境美化委員や老人会にお願いして1つの競技をうけもってもらっている
- 学区内での青少年、子ども会、老人会等と共有したスポーツ（レクリエーションを含む）を、小学校を中心に行っている。
- くさつ健・交クラブとの連携で、スキーツアー（長野）と子どもスキー教室を実施。
- グラウンドゴルフ大会は、日頃、グラウンドゴルフを楽しんでいる人々に準備や進行などを手伝ってもらいます。
- チャレンジスポーツ大会において（グラウンドゴルフの部）草津市グラウンドゴルフ協会役員の方々の協力で実施。
- 特にはありませんが、今後、指導者を要請するにあたり取り組んでいきたい。指導者がいれば習いたいという人が増えると思います。
- 地域の小学生、老人会等の集まりなどへ出前講座等、体振委員の方々の声かけで行っていた。（ニュースポーツの紹介や実技指導など）

③ 地域スポーツ推進活動の問題点・課題について

問8 地域でのスポーツ推進活動について、問題点・課題などがあれば、具体的にご記入ください。

- 学区編成があった為、規模が拡大。学区事業と地域事業の統一がむずかしい。
- 高齢者の参加率、関心は高いものの、働き盛にある年齢層の関心が得られないでいる。場所と機会を再考すべきなのかも知れない。
- 小・中・高生は、クラブ活動や所属する競技団体の活動に忙しく、参加が少ない。又、若年～中高年までの親は子供のつきそい等で参加しない。よって土・日・祝日の参加者が激減している。又、子供が減っていて参加者が少ない。
- 高齢化、若年層の都会への流出。
- クラブ組織員の高齢化による次期役員への任命が難しくなっています（どうしてもある人にかたよってしまいます）
- 数年前に地区が大きくなり、全体でのスポーツイベントができなくなった（やりにくくなった）
- 学区内でも、町単位で参加率に大きな差がある。
- 全体に高齢者が多く、スポーツもグランドゴルフ、ペタンク等の競技が多くなりつつある
- 体育振興会の活動に対して協力の得られない自治会が増えてきている（役員不足）・総合型地域スポーツクラブの運営役員・スタッフが少なく集めるのに苦労している
- 体育振興会と協力して活動しているが体育振興会委員の参加が町によって温度差がある。また、執行部の高齢化や負担の大小など。
- 後継者がなかなか出来ない。
- 11月のチャレンジスポーツのコマーシャルや回覧もしますが、新メンバーが少ない。ニュースポーツにふれて楽しさを知ってほしいと願っています。
- 学区内の各町内会毎の組織体制や住宅環境（旧家、代々の居住、マンション（学生マンション含む）、戸建て住宅）や住人の高齢化等により、①各種行事への参加募集に苦労した。②特に団体競技種目については、チーム数確保に課題を残した。
- 学区のスポーツ振興会との交流・連携がないので、地域での活動としては少ない。
- いかに会員を増やすかに課題を感じます。
- グラウンドゴルフ大会等、開催しても、毎回同じ人達の参加が多いように感じる。
- 平均年齢の高齢化、役員が他の団体（町など）の役員を兼任しているのでより忙しい。
- 年一度のオール老上スポーツ大会がありますが、地域柄昔から各町内で運動会を開催されている地域が多くそちらを重視されており、オール老上スポーツ大会は「人が集まらない」という地域が多く、役員になった人の負担（運営、出場者集め、打合せ会議）ばかりが目立ち、開催についていつも疑問に思うことが多々ある。小・中・高・学生の参加も少ない。それぞれ事情があるので仕方がないが。
- 地域での参加者が少なくなっています。

④ 今後の地域スポーツ推進活動について

問9 今後、地域でのスポーツ推進活動を展開していくにあたって特に力を入れていきたいと考えている取組等があれば、具体的にご記入ください。

- 個人的な事ですが、体に障害のある方々とスポーツでいっしょに楽しめる時間があれば参加したい。が、コロナでどうだろう・・・(以前に参加した時、障害のある方のほうから毎年この研修会があるのならば参加したい楽しかったと聞いて、家族やボランティア(担当者)以外の人との交流がしたいと聞いたため)
- 老人会や地域サロンの場で、スポーツ推進委員の出動要請をもっと積極的に取り入れてもらってはどうか。
- 健康推進委員による高齢化層への運動強化、当然スポ推としても協力はしていくべき。
- 年齢を問わず Welcome の気持ちで皆で楽しく汗をかければ良いと考えています。他学区からも喜んで受入ます。
- スポーツ活動を通じて地域交流を深める。
- 広報的な活動方法。
- 高齢化にともない、種目に限りがあります。もっと若い人たちが参加してくれるような企画をしていきたい。(コミュニケーションがとれるような)
- スポーツクラブの種目の充実と役員集め。
- 地域事情や高齢化に対応出来るスポーツ行事の企画実施(例 年代別チャレンジスポーツ大会、ニュースポーツ(4種目程度)、レクリエーションを含めた歩こう会)
- 1人でできる事ではなく、また”力を入れていきたい”というより”力を入れなければいけない”という事ですが、子どもの体力低下と高齢者の運動能力低下の防止を参加しやすい形で活動しなければいけないと思う。
- ノルディックウォーキングの用具 50名分を購入していますので、活用していきたいと考えています。ウォーキングは5年ほど前からコースを考えて5月に実施しています。
- 地域での歩こう会等、歩くこと、体操などの体を動かす方に力を入れる。
- 「歩こう会」を通じて、散歩する人、ウォーキングする人を増やしたい。また、ウォーキングしている人に「歩こう会」を紹介したい。

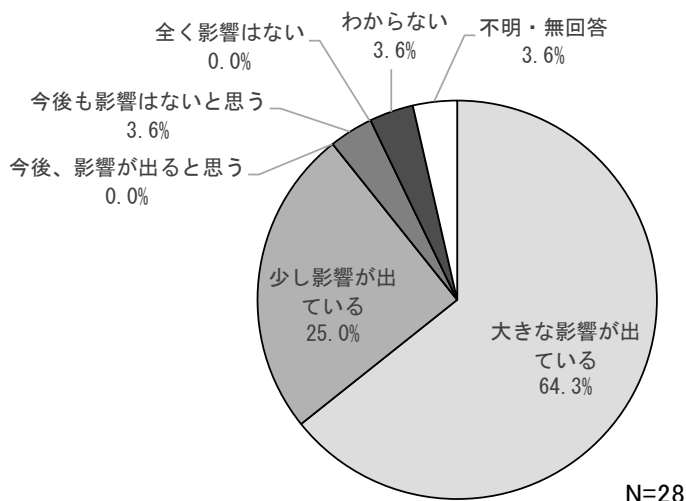
問 10 今後、地域でのスポーツ推進活動の中で、交流・連携したいと考えている団体等があれば、団体名や具体的な交流・連携の内容についてご記入ください。

団体名	具体的な交流・連携の内容
健康推進委員、民児協、社協	
老人クラブ等々の高齢者組織	ニュースポーツなどの軽運動の実施
体育振興会	地域密着のスポーツ指針活動
青少年育成部会と体育振興会	子どもから高齢者まで一緒にウォーキングを楽しみ、行先の公園などでレクゲームやおやつタイムなどの交流で過ごせたらと思います
県内ニュースポーツ発祥の市、町のスポ推団体	ニュースポーツ大会開催時における企画運営と交流
グラウンドゴルフ	
あったらおしえてほしい	

⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響

問 11 新型コロナウイルス感染症の流行は、あなたのスポーツ推進委員としての活動に影響を及ぼしていますか。(○1つ)

- ◆ 「大きな影響が出ている」が64.3%、「少し影響が出ている」が25.0%で、あわせて9割が影響が出ていると回答。
- ◆ 具体的には、活動ができないことやイベントの中止といった内容が上がっている。



<具体の影響>

- 体育館やグラウンドで多くの人が集まれないので、活動がない。
- イベントの中止、会議の中止。
- これまでの事業、予定が全て中止されている。自身の体力維持もままならない。
- ソフトボール、運動会等地区行事の中止。
- 集合体での活動ができない。

- 感染防止の対応が大変です。消毒液、マスク、3蜜等への徹底が難しい。
- 現在まで、全ての行事が中止になっている
- 体育館などの活動が制限（限界）がある。
- イベントの中止が多いので、物足りない。
- 例年のスポーツイベントが出来ていない。
- 団体（集団）で行事が取りやめ。
- スポ推会員とのコミュニケーション不足。
- 行事、イベントが中止され、活動が今ひとつできていない。
- 体育振興会のイベントの中止。
- 事業がすべて中止になり、なにお出来なかった。
- 3ヶ月間の体力低下が高齢者にはとり戻せるかな？と思います。家に閉じこもりがちだったので、足腰の弱った部分を少しずつ、復活させていくのに、3ヶ月ほどかかると思います
- 三密防止、自粛要請で年間計画事項が実施出来ない
- 全ての行事が中止になっている
- 多くの事業、イベントが中止になっている。事業を行うにあたって、感染予防対策を講じる必要があり、責任が重い。
- 地域での活動が出来ない。室内でのイベント等は全て中止です。第二波が発生した時の対策がどうなるか不安。
- 周りの影響
- 今年度の行事が開催出来ていない（今後の行事も不明）
- 準備段階から何もできない。会議がない→何もなくても支障がない→ないほうが楽→でもしなければならぬ→楽しくない。
- 今まで通りの活動方法では、感染のおそれがある。新しいガイドラインを考えることが必要。イベントがほぼ中止になっている。今までのように容易に打合せに集まれない。
- 行事がすべて中止になっている。
- 特効薬、ワクチンが出回るまでは、楽しいスポーツはありえないと心配している。

⑥ 自由記述

問 12 地域でのスポーツ推進活動について、ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。

- 地域のまちづくり委員会が協力的ではないように思える。
- 新任委員さんへの「スポーツ推進委員の役割」についての徹底教育をすべし。ここ2期、3期前からの委員さんの意識低下が見られるように思う。土曜、日曜以外の出勤が可能な委員さんが56人中半分くらいは必要かと思う。平日出勤の場合、現在は5~6人で、同じ人になっている。再考願いたい。
- 野外（グラウンド・広場）・屋内（体育館）が簡単に借りられる様にしないと集まってのスポーツが不可と考える。公園空きスペースの確保が容易にする。
- 民主党政権時の仕分けにより、スポーツ関係の予算がカットされ、役所としては業務の帳面消し活動となっている印象を受ける。（スポーツ保健課だけががんばってるだけで、市全体ではその程度に思われている印象を持つ）
- 技術的な上手、下手を区別せず、会員全員のレベル UP を忘れず、楽しい雰囲気の中でスポーツをしていただければ幸いです。
- 今、コロナの中での活動はなかなか難しいが、スポーツを通じて、笑顔になれる様な活動を行

っていきたい。

- 現状で満足しています。今後も頑張ります。
- コロナ禍、今後の見通しが立たない
- 学区の体育振興会を通しての活動が主となっていますが、スポーツ推進委員として学区で活動ができれば、もっと、スポーツを広げられるように思えます。また、気軽に参加できる”体操”などを紹介する事で、子どもたちの大量低下や高齢者の運動能力低下もふせげるように思えます。スポーツ推進委員の中には、指導出来る人がいるので、その人達をもっと活用してあげたらいいと思います。
- いかにか会員を増やすかが問題です。